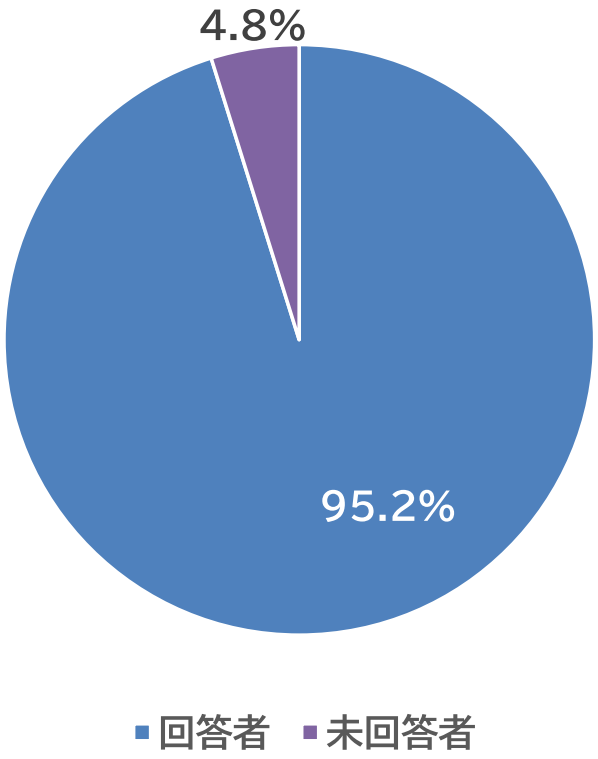
2025年度　学修方針および学修成果アンケート報告書

愛知医療学院大学



1年生：88/93人 回答

平均回答率：94.6%

2年生：70/73人回答

平均回答率：95.9%

- PT1：57/62人 回答
- PT2：41/43人 回答
- OT1：31/31人 回答
- OT2：29/30人 回答

※休学者を除く

設問一覧

※設問1は専攻・学年を答えるものです

【教育】

設問 2.　教養基礎科目のカリキュラムについてお答えください

設問 3.　専門基礎科目および専門科目のカリキュラムについてお答えください

設問 4.　臨床実習や臨床実習施設についてお答えください

設問 5.　学修を進めるにあたりカリキュラムツリーを活用しましたか

設問 6.　学修を進めるにあたりカリキュラムマップを活用しましたか

設問 7.　シラバスは理解しやすいものでしたか

設問 8.　シラバスを自己学習に役立てましたか

設問 9.　前期・後期、各曜日の科目の配分についてお答えください

設問10.　科目試験（本試験や再試験）に対し、1 日平均してどのくらいの勉強時間を取っているかお答えください

設問11.　事前事後学習（授業外の学習（予習・復習・課題））として 1 日平均してどのくらいの勉強時間を取っているかお答えください

【学修成果】

設問12.　本学の学修成果を知っていますか

≪現時点における達成状況についてお答えください≫

設問13.　他者に対して思いやりを持ち、支援や共感を示すことができる

設問14.　様々な角度から物事を考え、自分から積極的に行動を起こすことができる

設問15.　専門分野以外の幅広い教養を身につけ、多様な視点を持つことができる

設問16.　社会の動向に関心を持ち、自己研鑽に活かすことができる

設問17.　リハビリテーションの基本的な概念と、歴史的背景を理解している

設問18.　疾病や障害に関する医学的な知識を理解している

設問19.　多様な背景を持つ人々と円滑にコミュニケーションが取れる

設問20.　他者と連携が必要な状況で、自分の役割を理解し、積極的に関与できる

設問21.　多職種連携における情報共有の重要性を理解し、実践できる

設問22.

＜理学療法学専攻＞理学療法士の職業倫理について理解し、実践できる

＜作業療法学専攻＞作業療法士の職業倫理について理解し、実践できる

【学修成果】（続き）

設問23.　基本的な治療技術を習得している

設問24.　治療の適応と禁忌を理解している

設問25.　対象者の話を聴き、ニーズを適切に把握することができる

設問26.　予防的視点を持ち、安全管理に配慮した介入ができる

設問27.　身につけた知識と技術を効果的に統合することができる

設問28.　対象者の状態に応じた評価項目を選択し、適切に解釈することができる

設問29.　基本的な評価手技を正確に実施し、結果を適切に記録することができる

設問30.　評価結果に基づいて、問題点を抽出することができる

設問31.

＜理学療法学専攻＞対象者の個別性に応じた理学療法プログラムを計画・立案することができる

＜作業療法学専攻＞対象者の個別性に応じた作業療法プログラムを計画・立案することができる

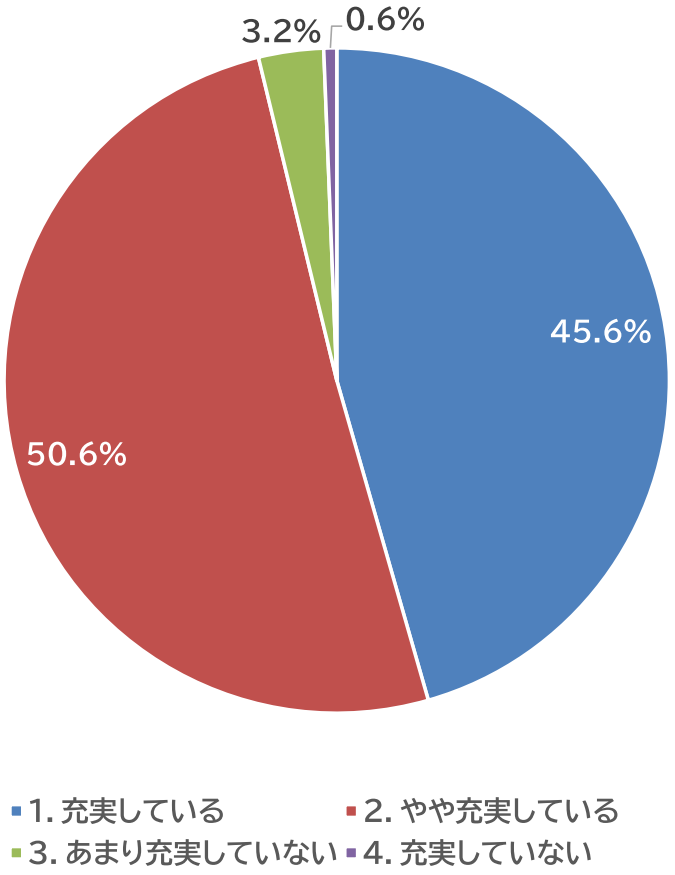
設問32.　急性期から生活期までを見据えた介入計画を立案できる

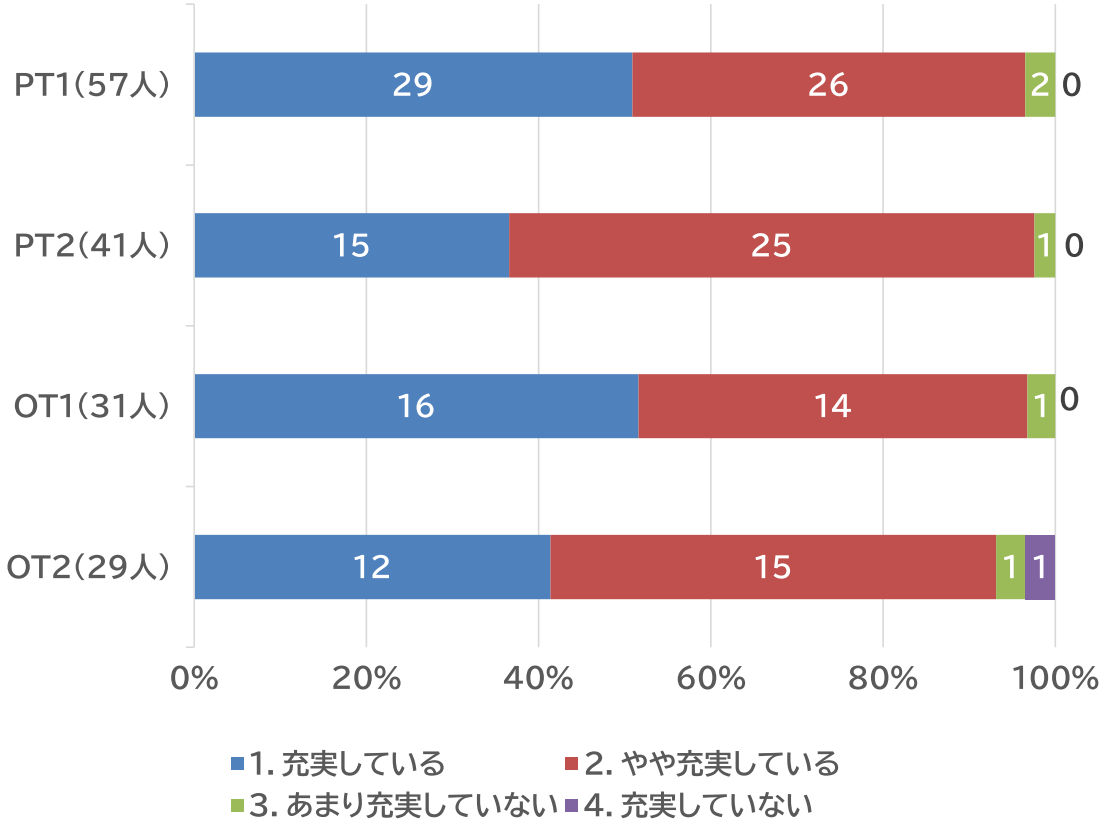
設問33.　長期的予後を考慮した目標設定ができる

設問34.　上記以外に習得できたと感じることを記入してください（自由記述）※非公開

≪設問2≫

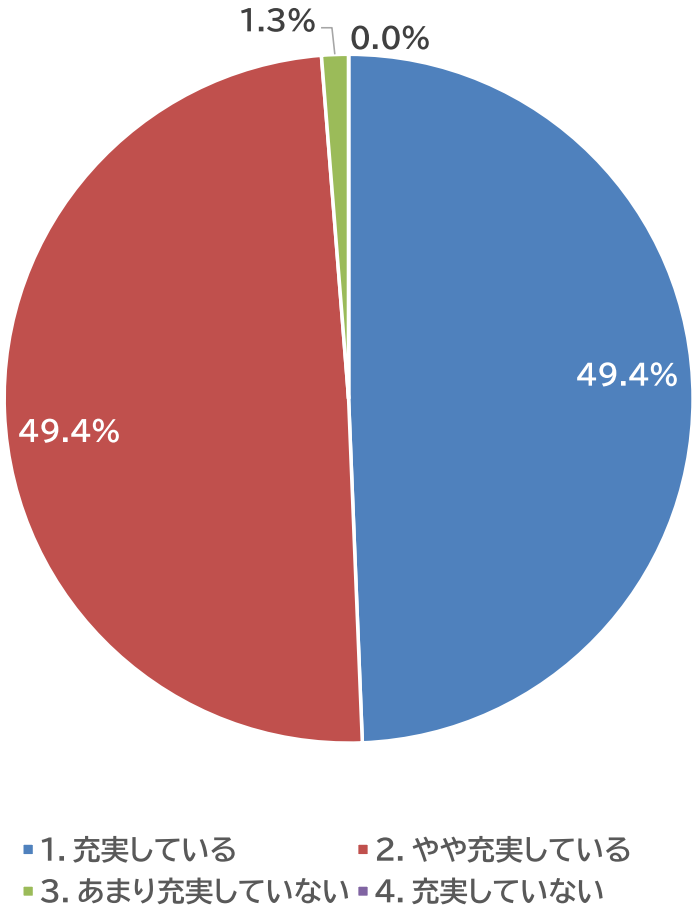
【教育】1.　教養基礎科目のカリキュラムについてお答えください

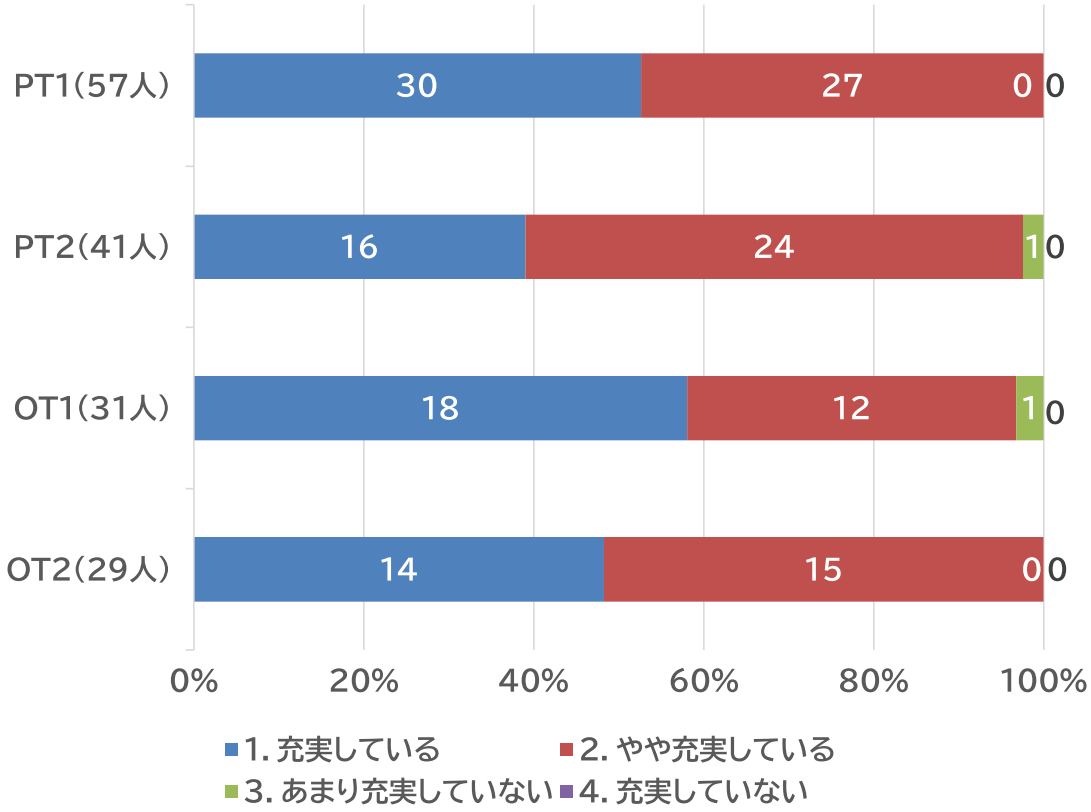




≪設問3≫

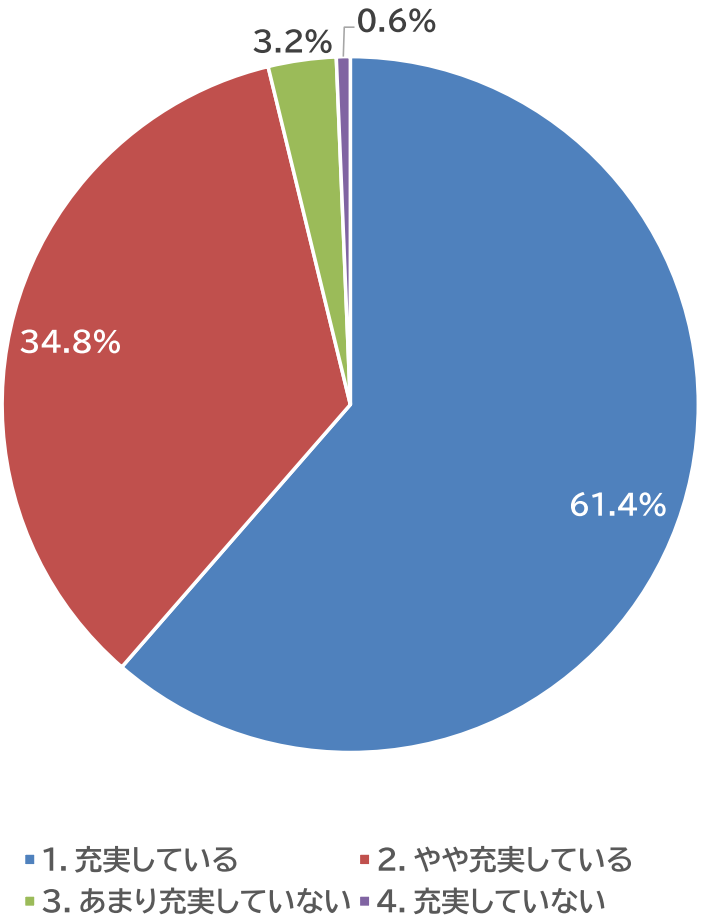
【教育】2.　専門基礎科目および専門科目のカリキュラムについてお答えください

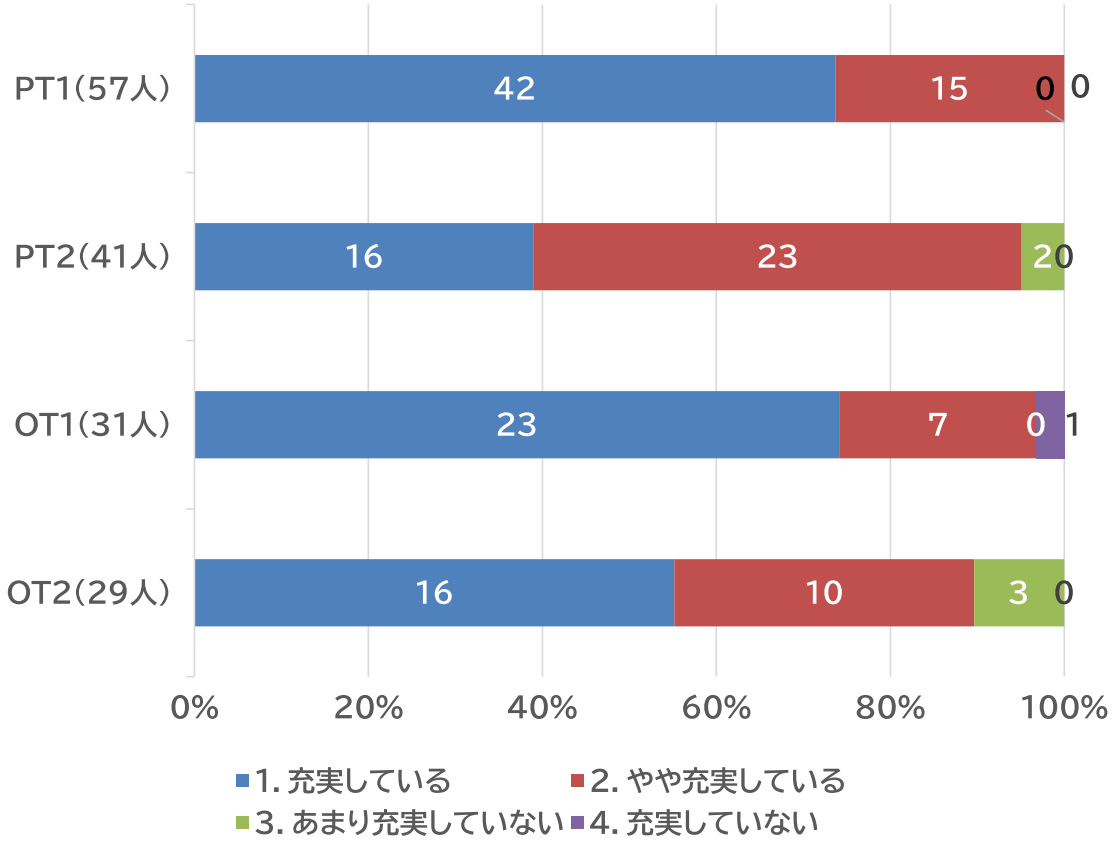




≪設問4≫

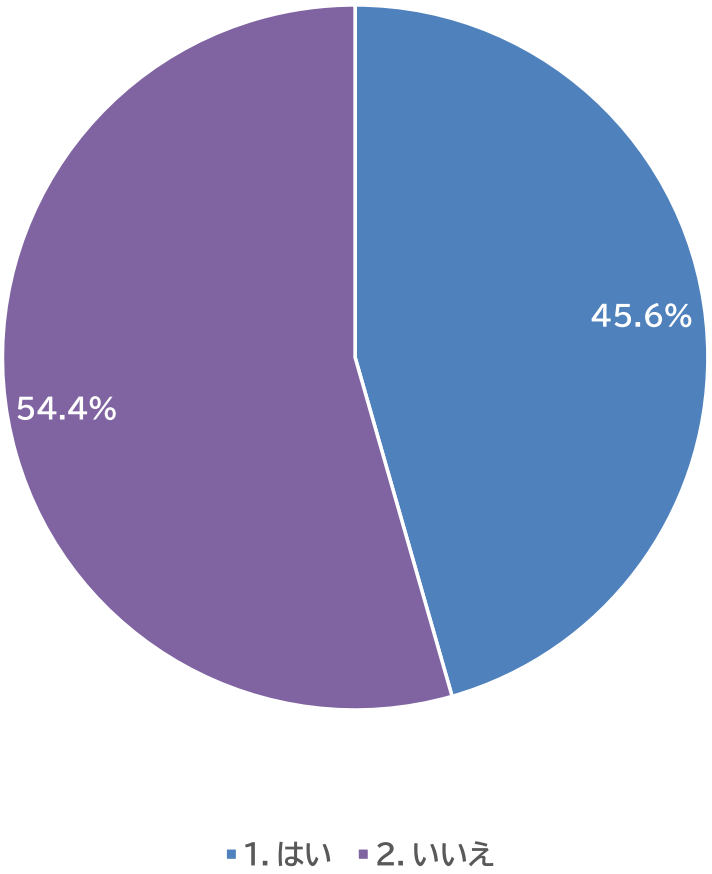
【教育】3.　臨床実習や臨床実習施設についてお答えください

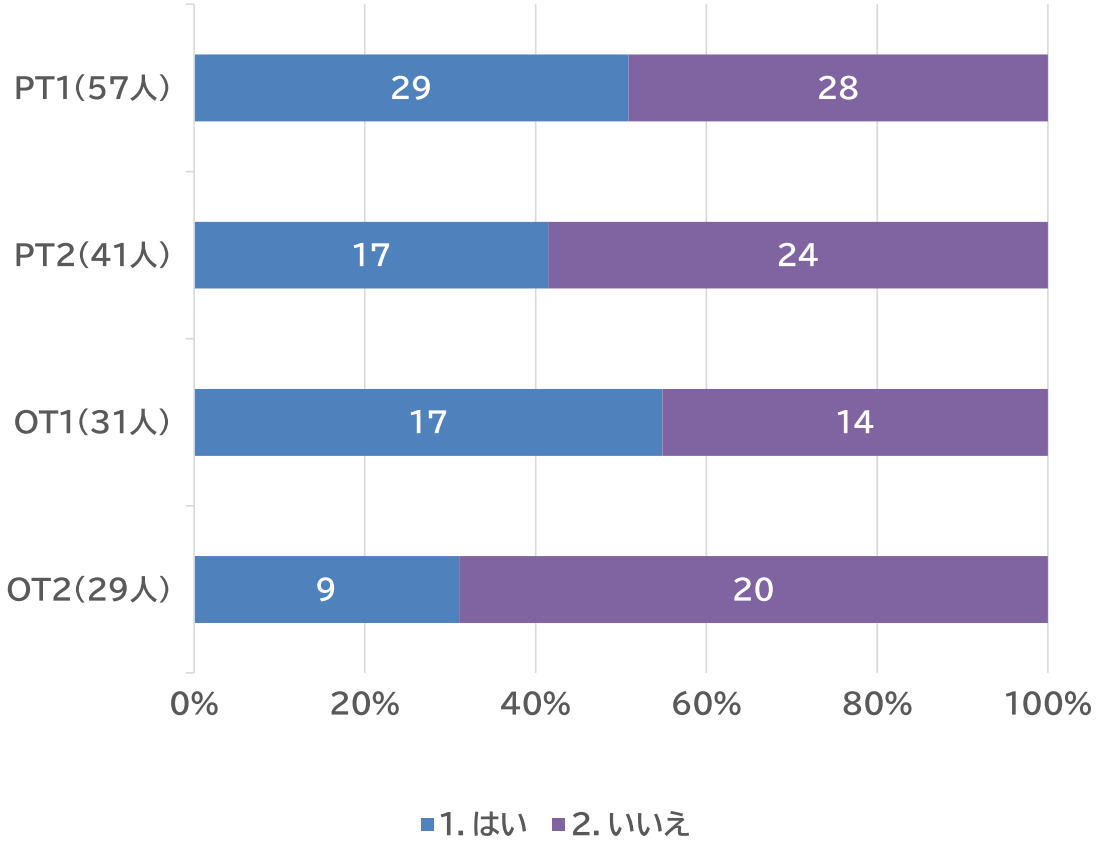




≪設問5≫

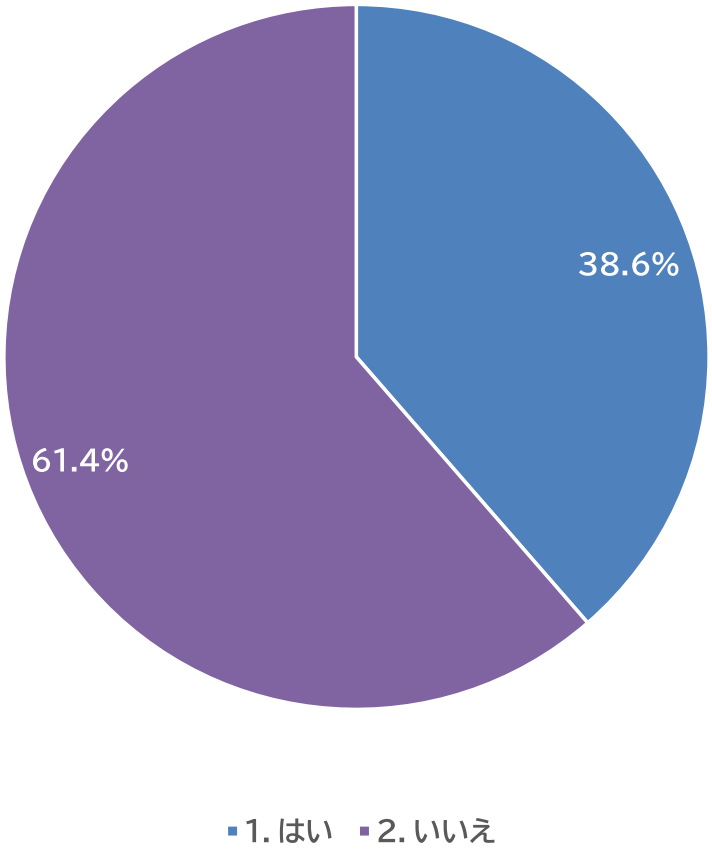
【教育】4.　学修を進めるにあたりカリキュラムツリーを活用しましたか

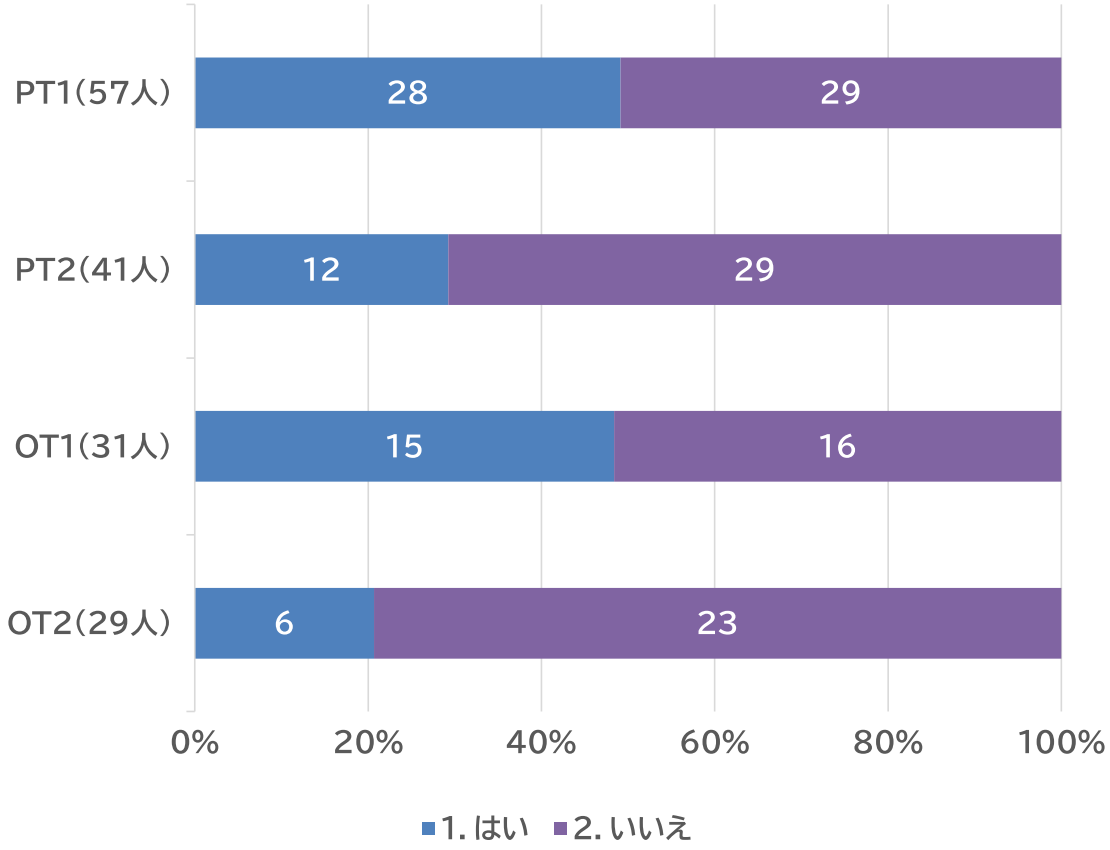




≪設問6≫

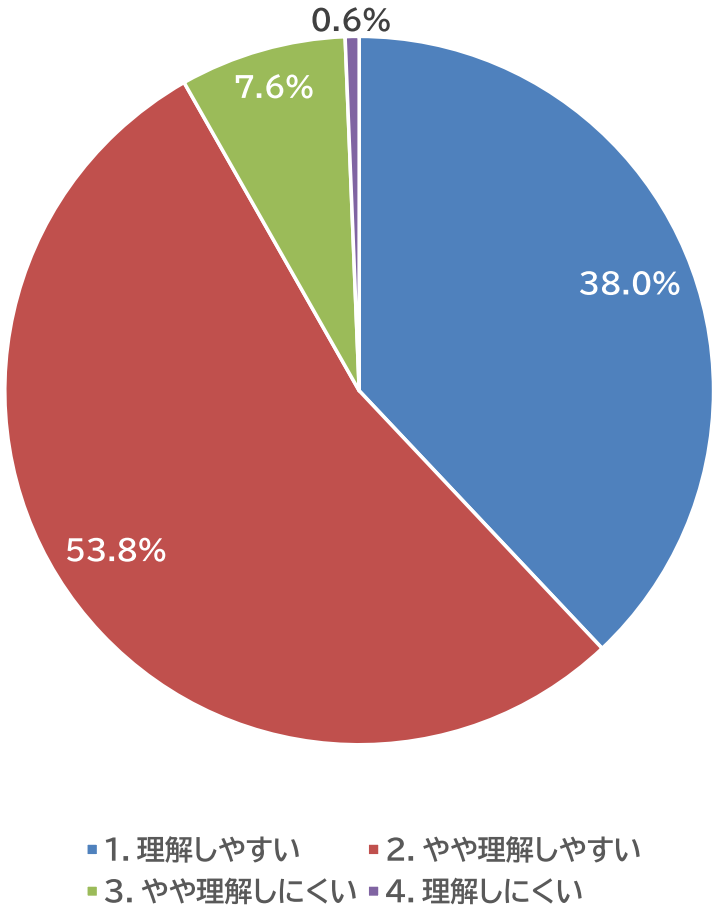
【教育】5.　学修を進めるにあたりカリキュラムマップを活用しましたか

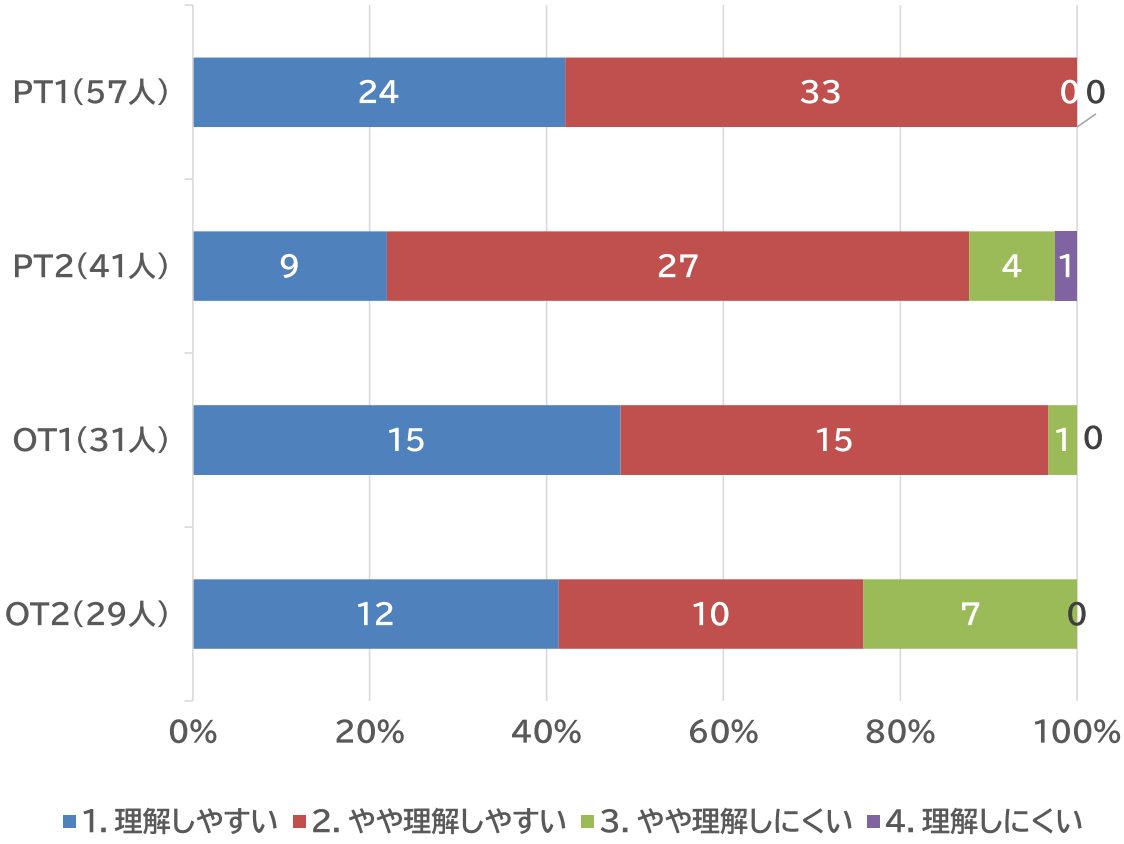




≪設問7≫

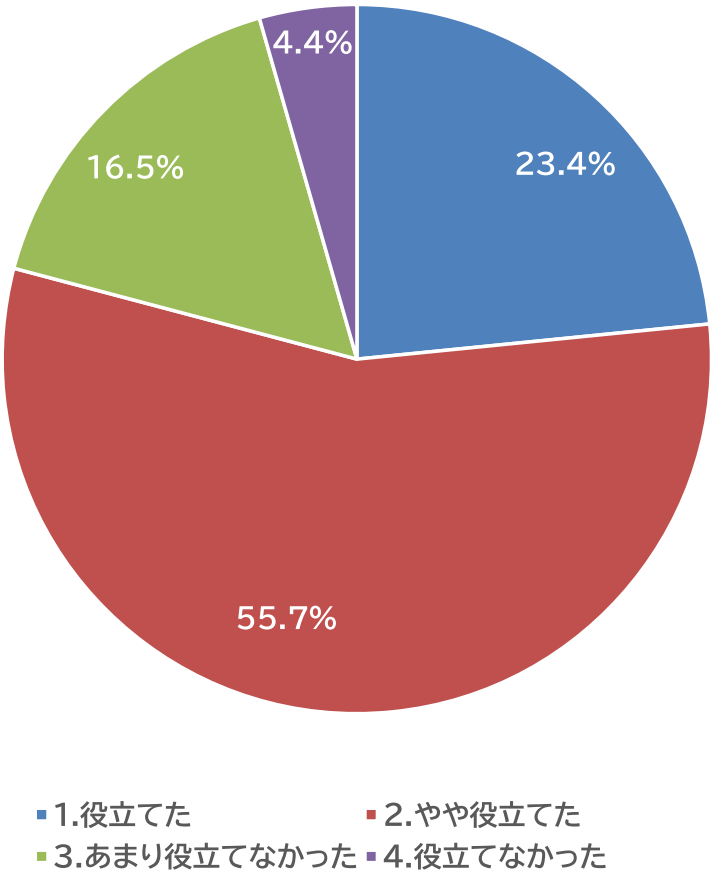
【教育】6.　シラバスは理解しやすいものでしたか

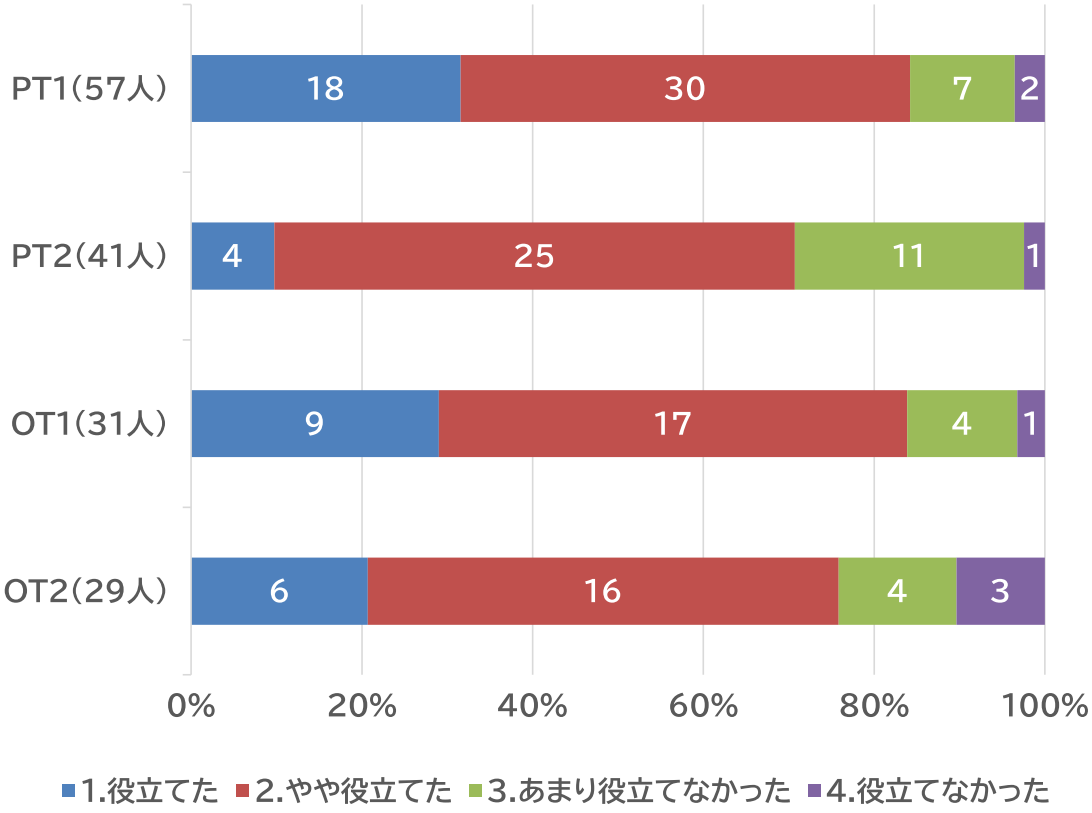




≪設問8≫

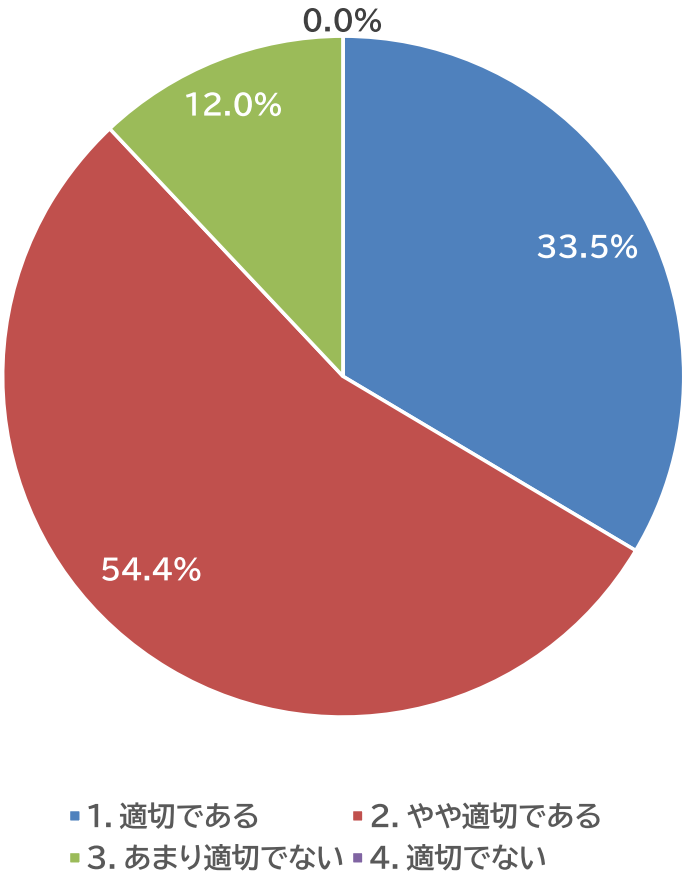
【教育】7.　シラバスを自己学習に役立てましたか

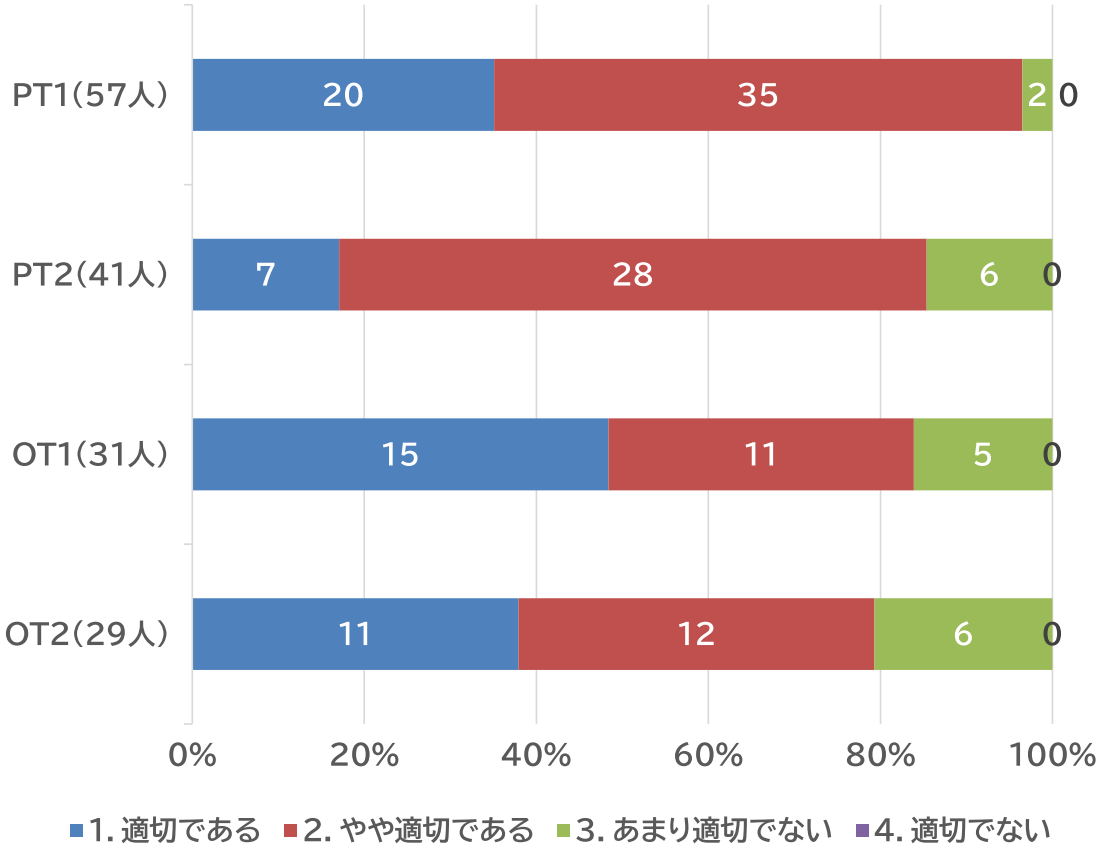




≪設問9≫

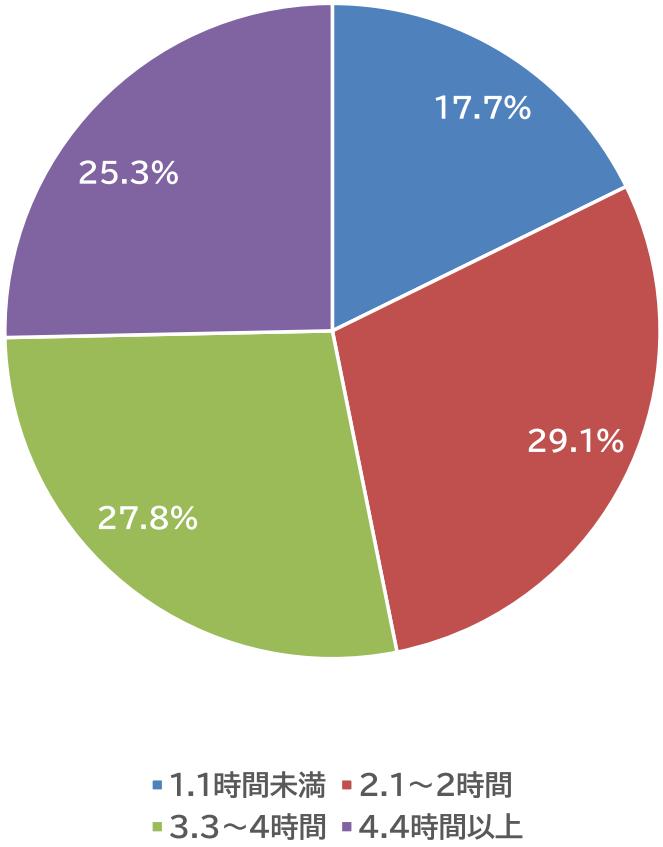
【教育】8.　前期・後期、各曜日の科目の配分についてお答えください

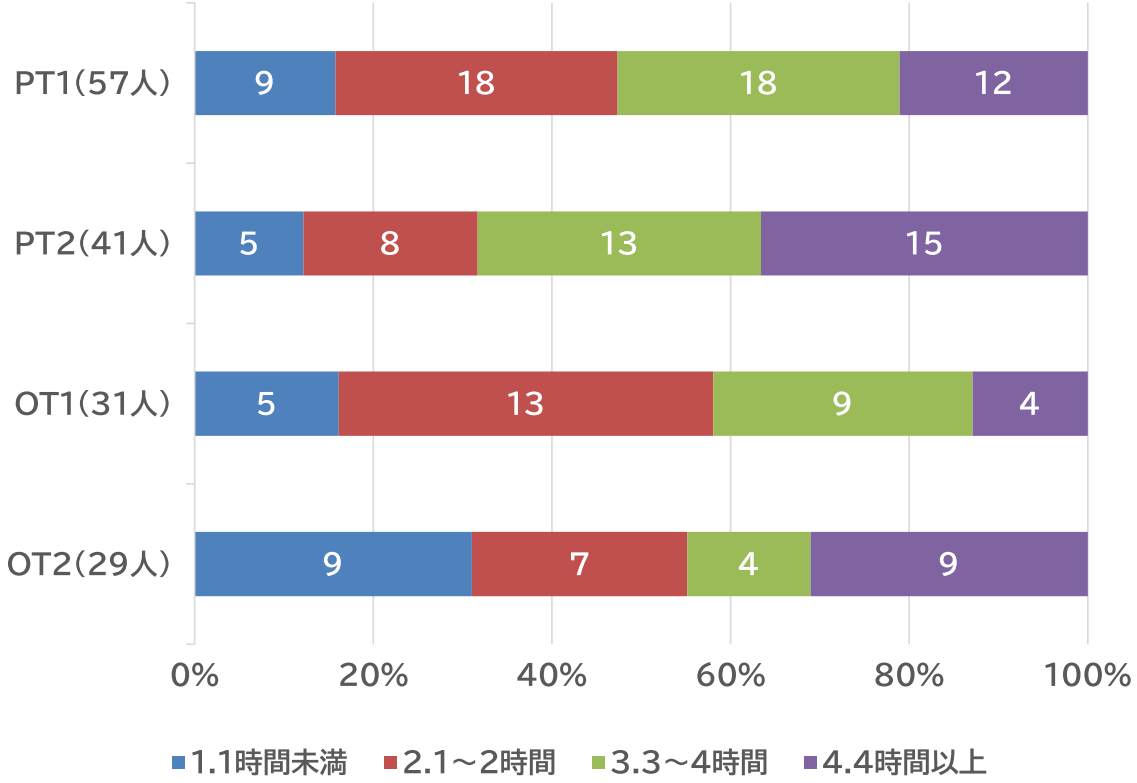




≪設問10≫

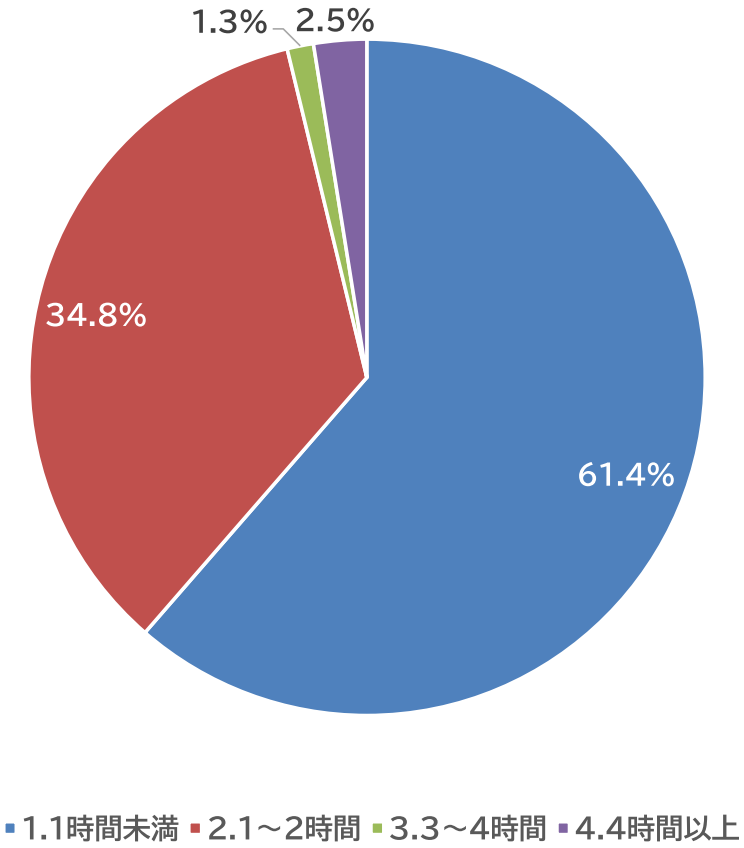
【教育】9.　科目試験（本試験や再試験）に対し、1 日平均してどのくらいの勉強時間を取っているかお答えください

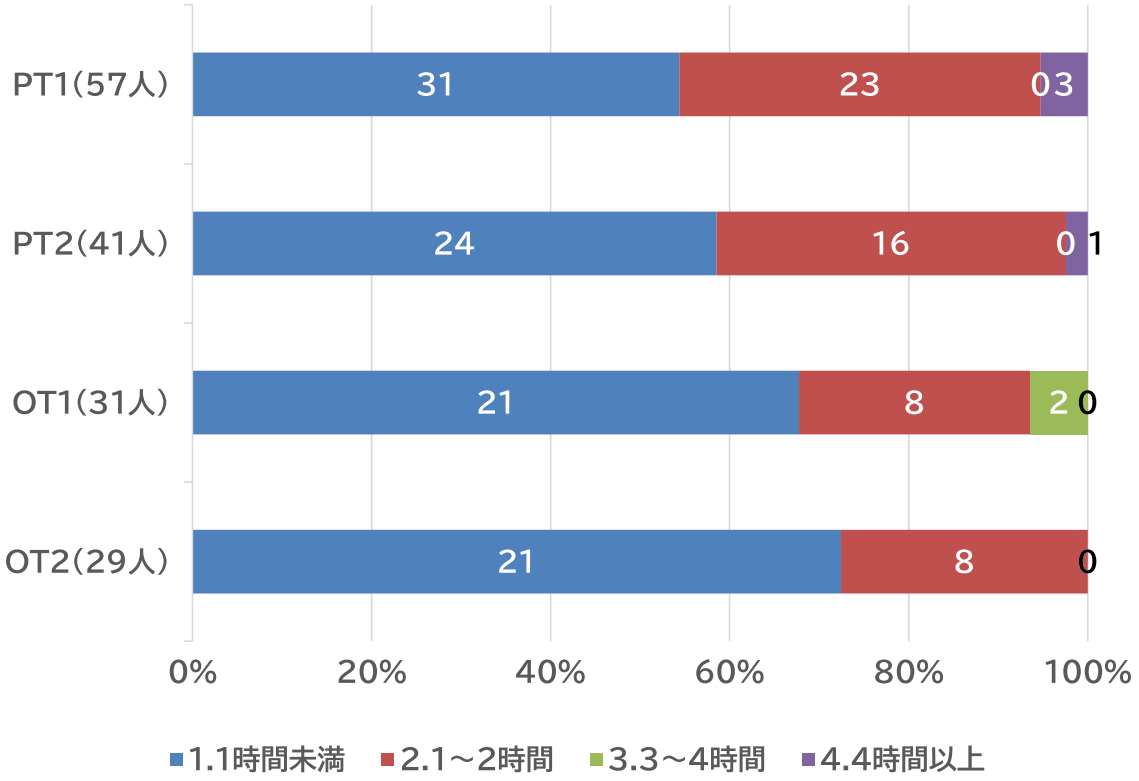




≪設問11≫

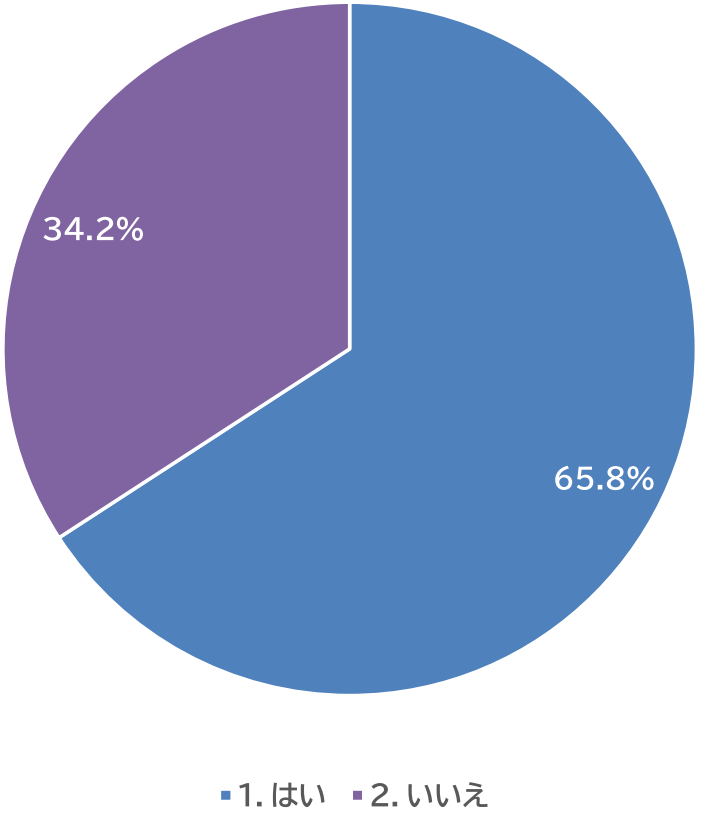
【教育】10.　事前事後学習（授業外の学習（予習・復習・課題））として
１日平均してどのくらいの勉強時間を取っているかお答えください

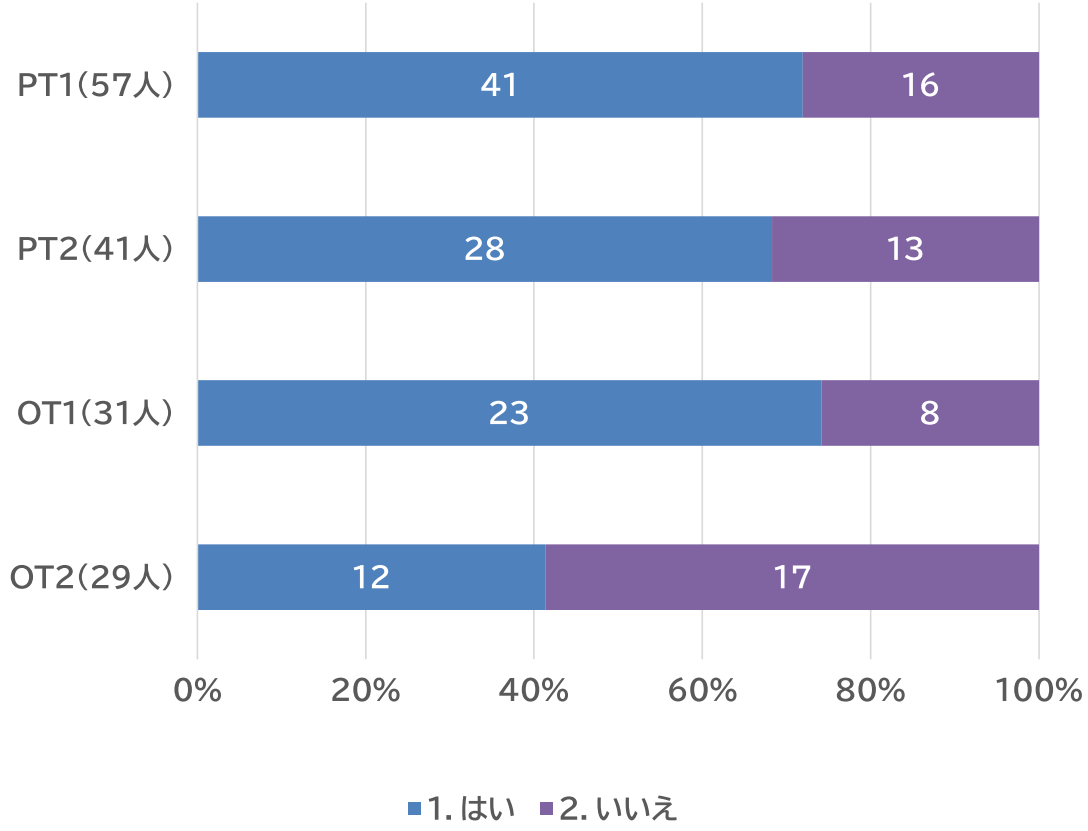




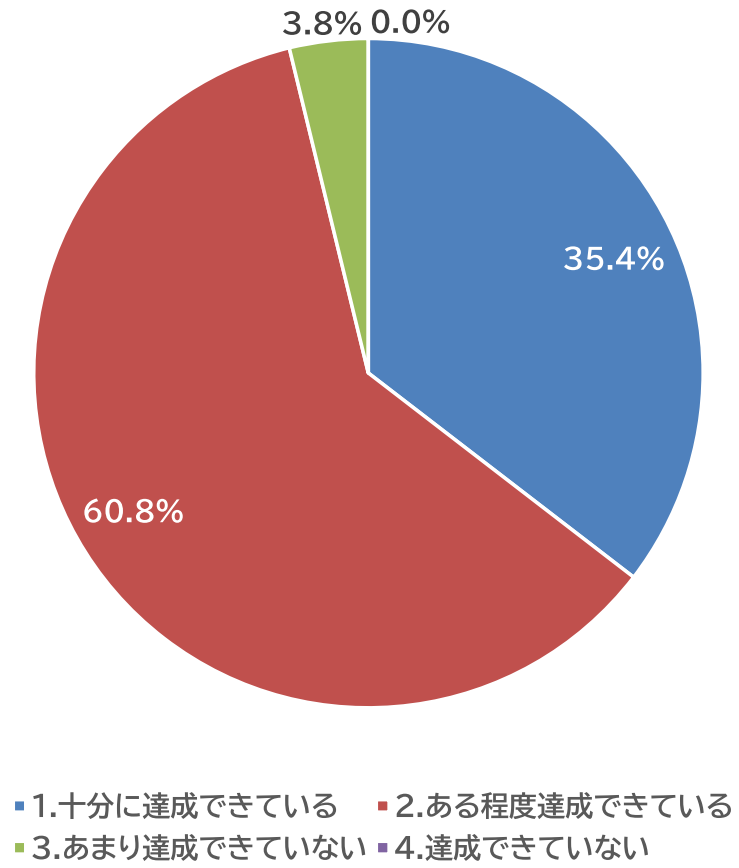
≪設問12≫

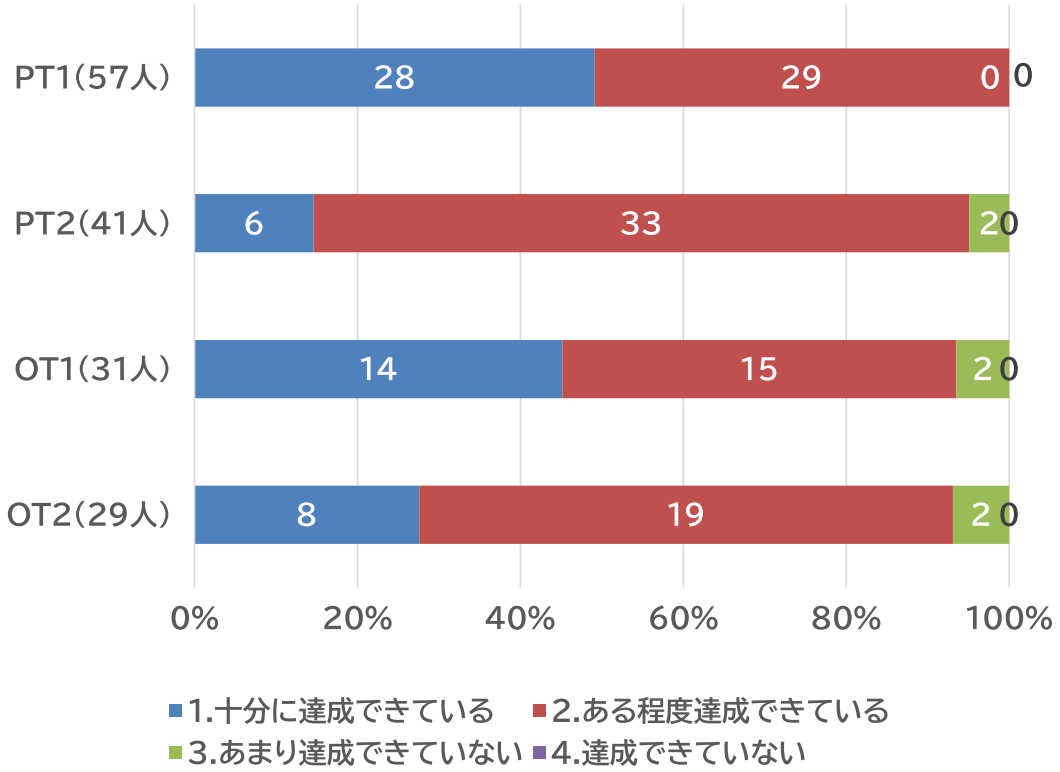
【学修成果】1.　本学の学修成果を知っていますか



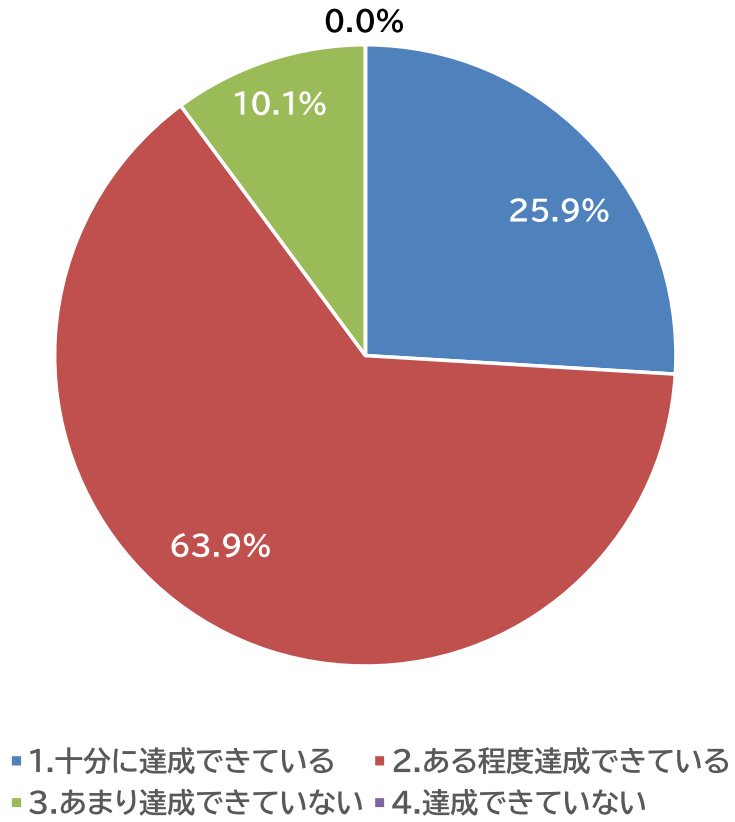


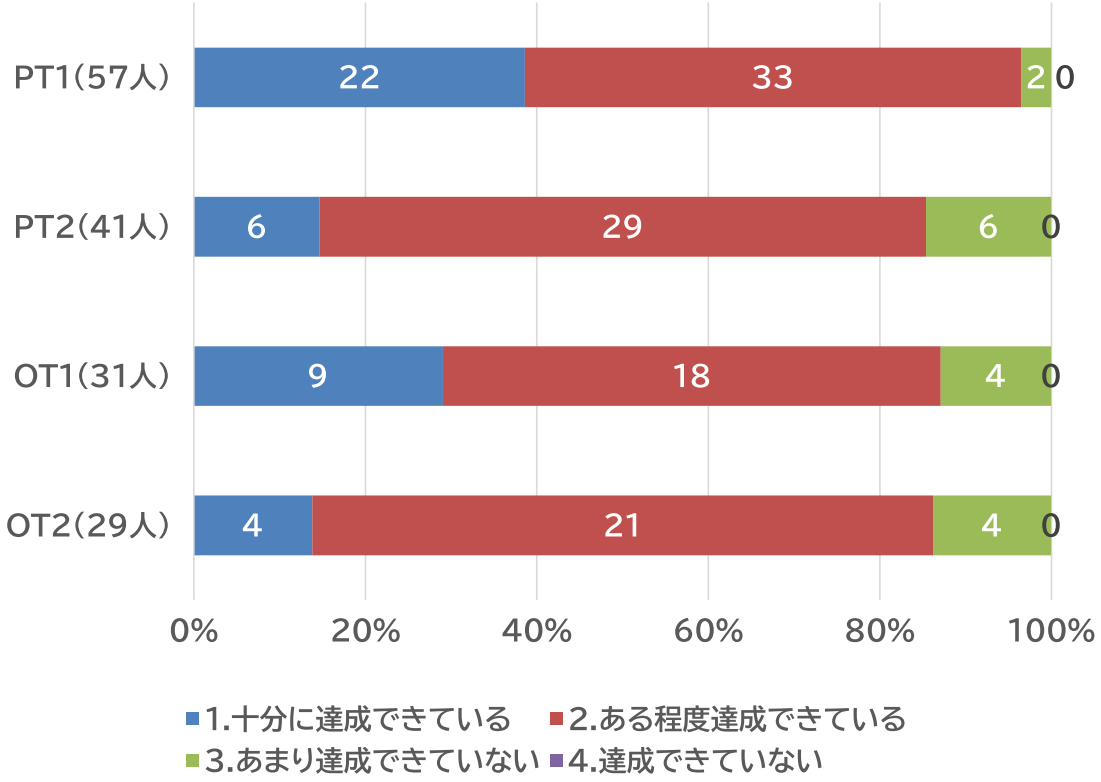
≪設問13≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】2.　他者に対して思いやりを持ち、支援や共感を示すことができる



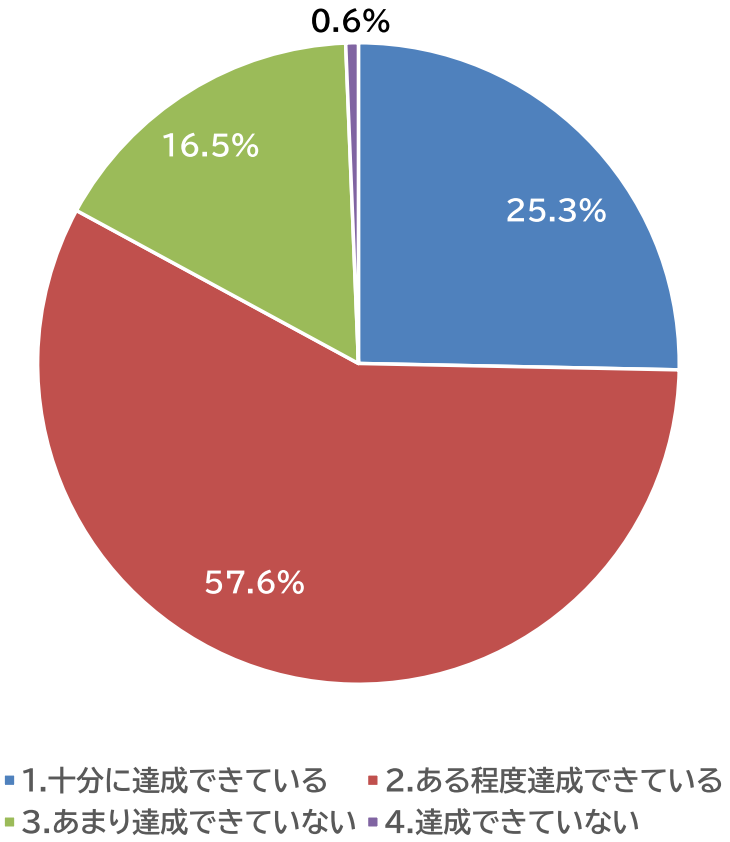


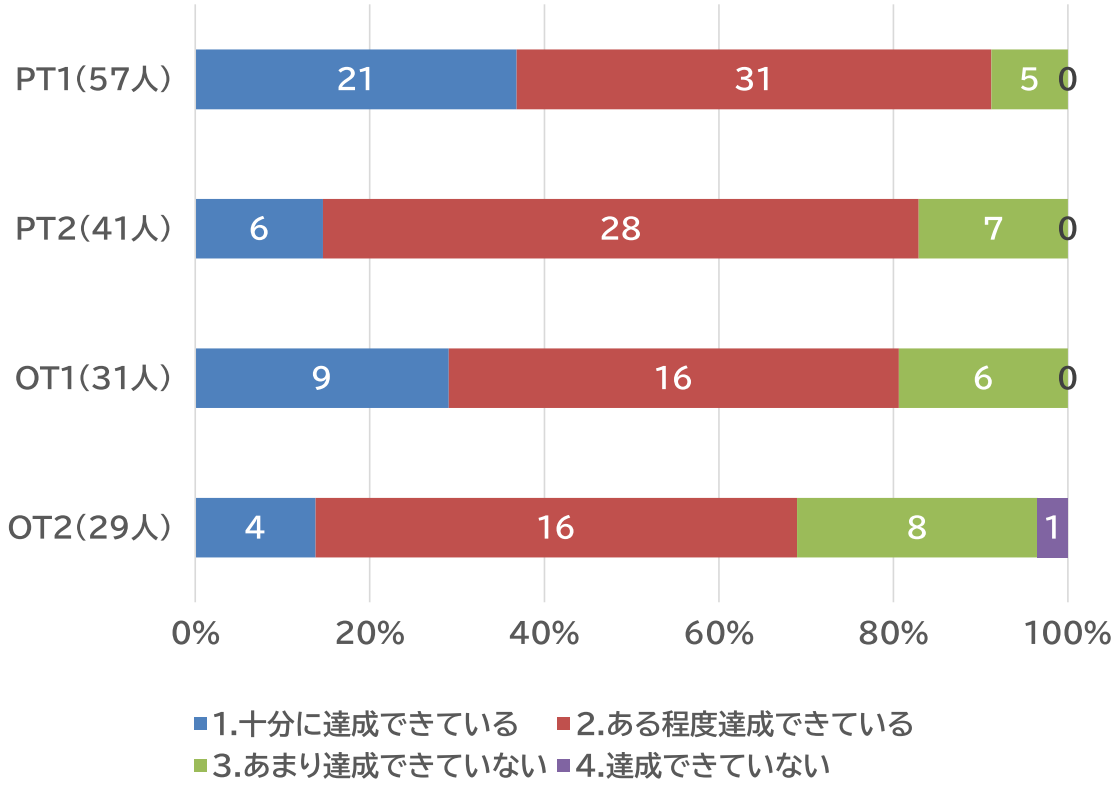
≪設問14≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】3.　様々な角度から物事を考え、自分から積極的に行動を起こすことができる



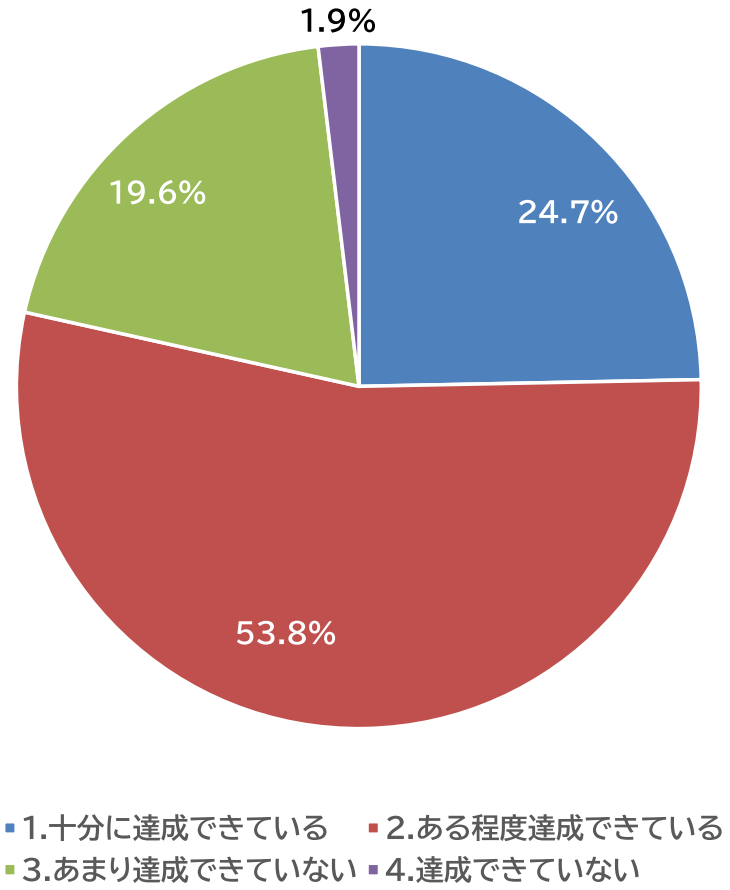


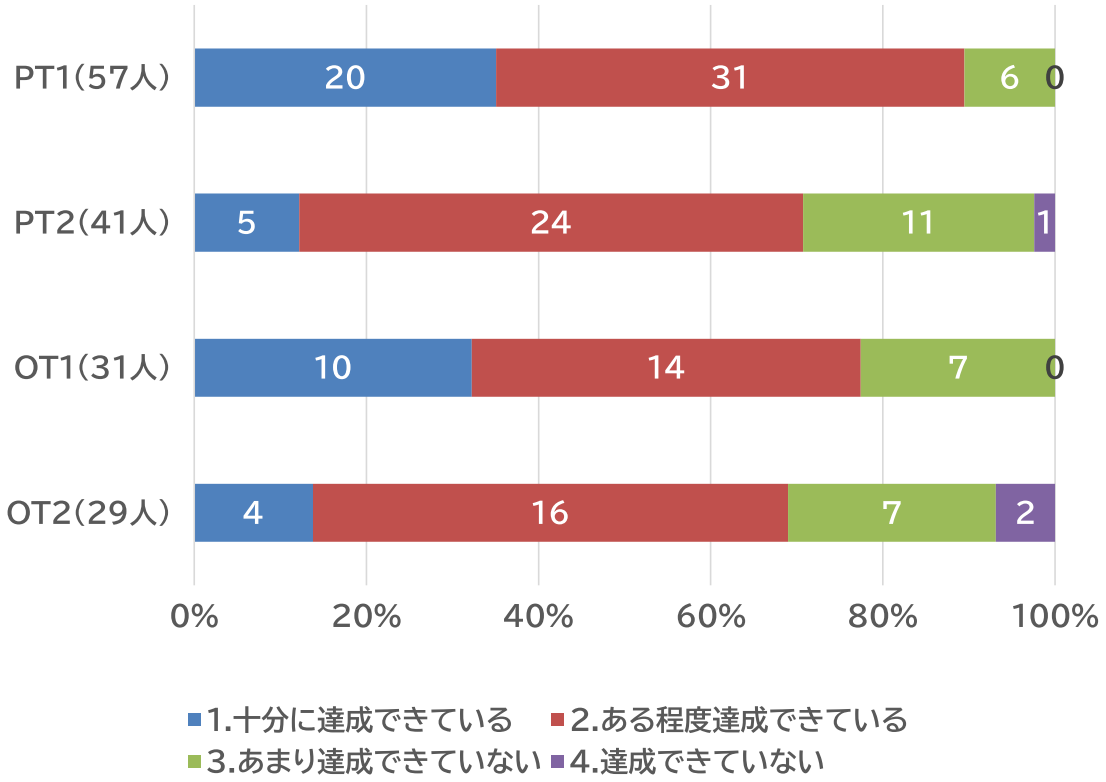
≪設問15≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】4.　専門分野以外の幅広い教養を身につけ、多様な視点を持つことができる



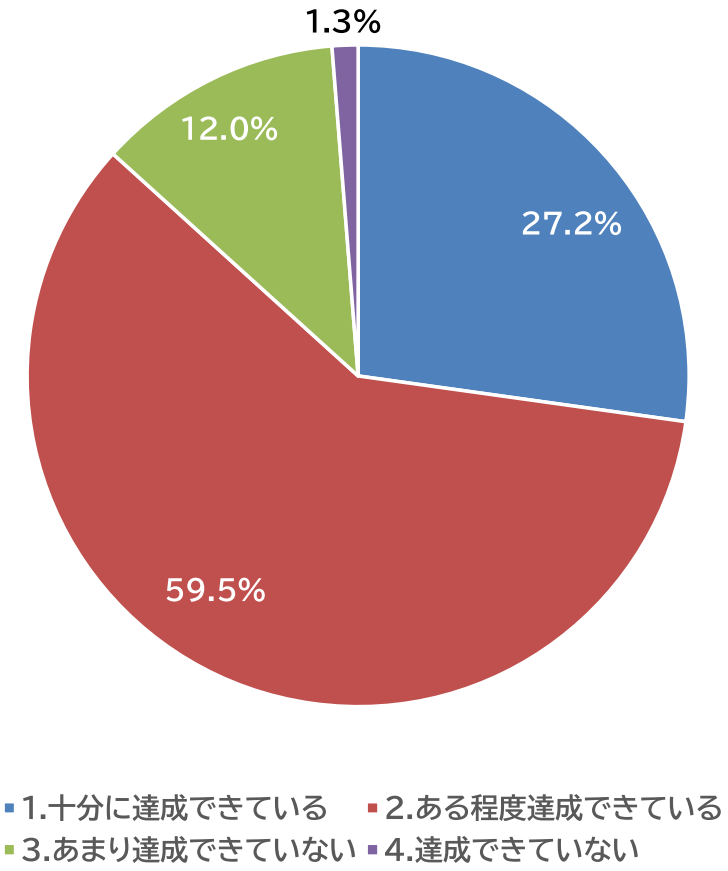


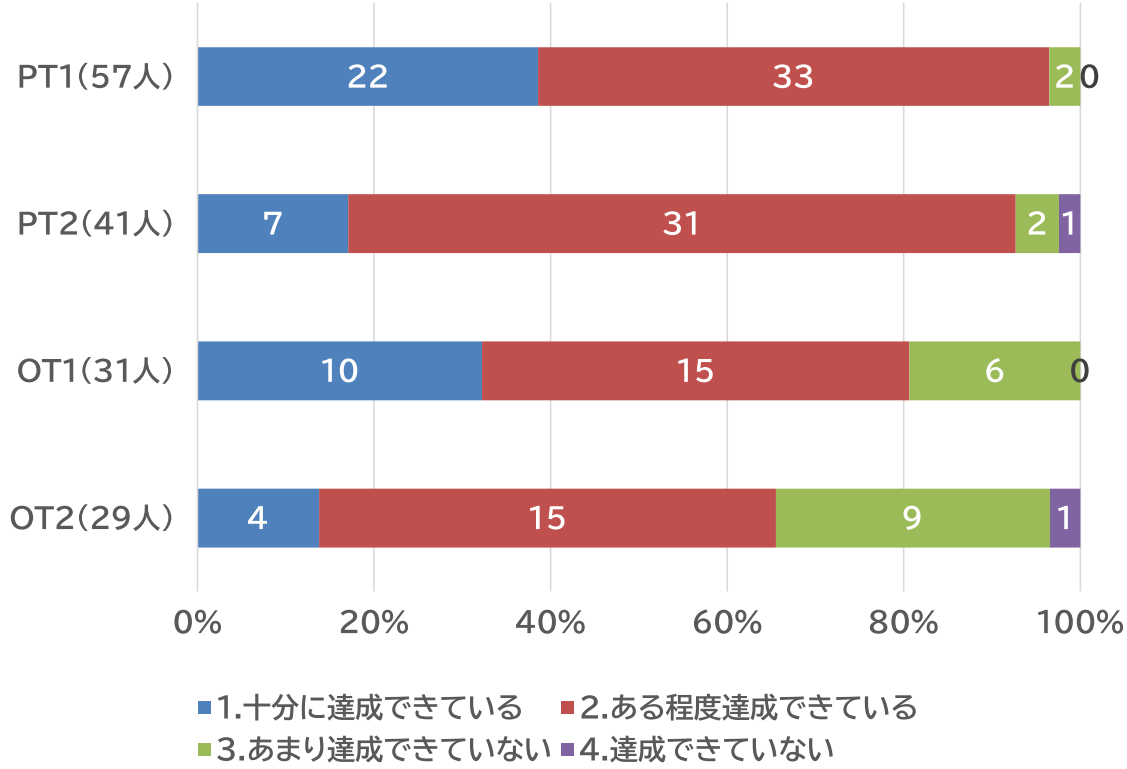
≪設問16≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】5.　社会の動向に関心を持ち、自己研鑽に活かすことができる



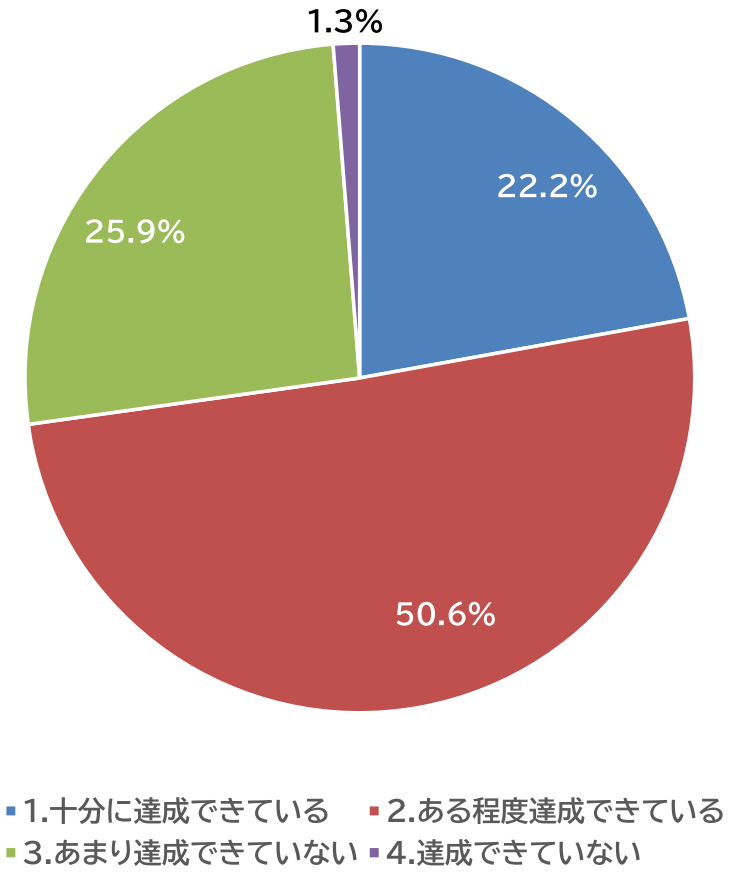


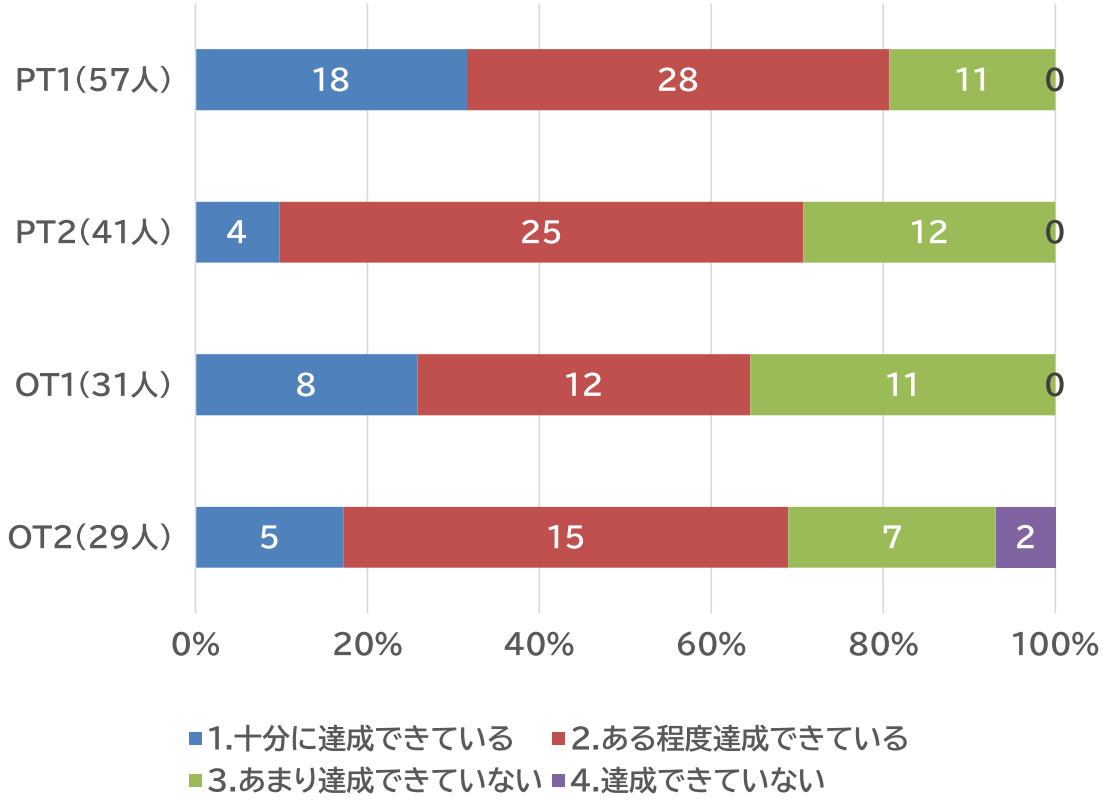
≪設問17≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】6.　リハビリテーションの基本的な概念と、歴史的背景を理解している



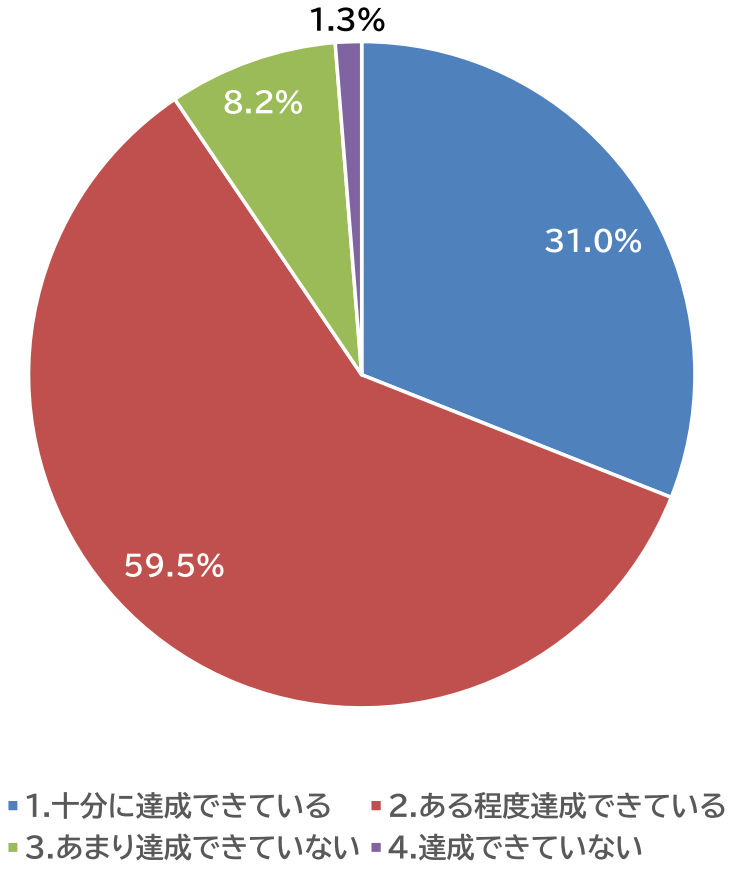


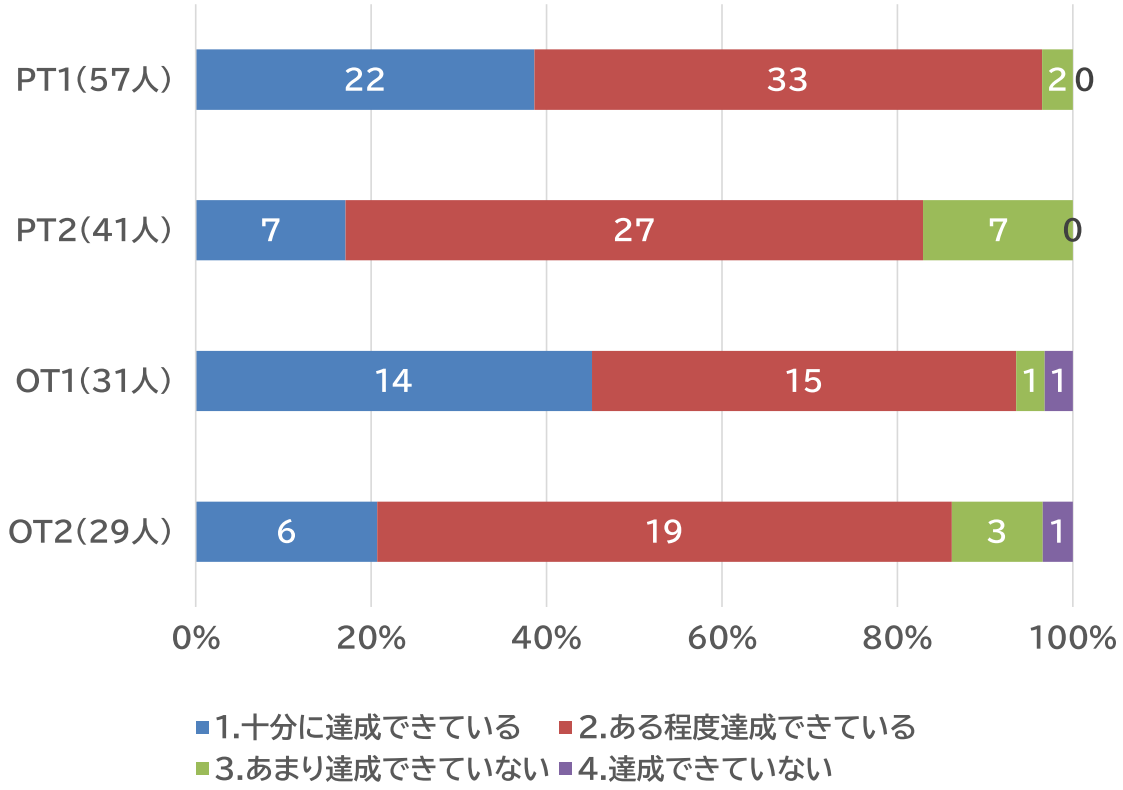
≪設問18≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】7.　疾病や障害に関する医学的な知識を理解している



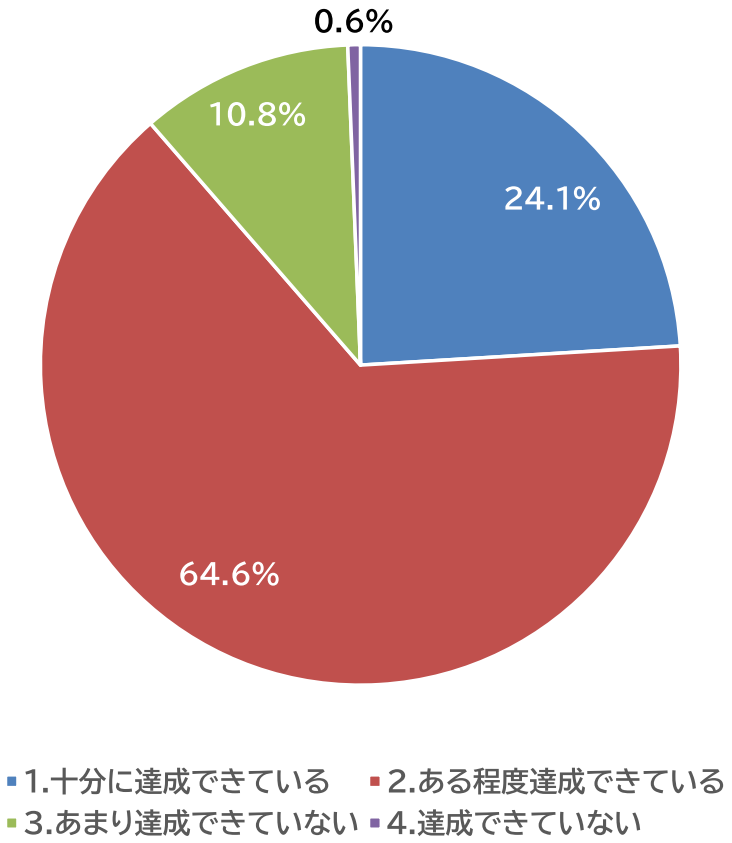


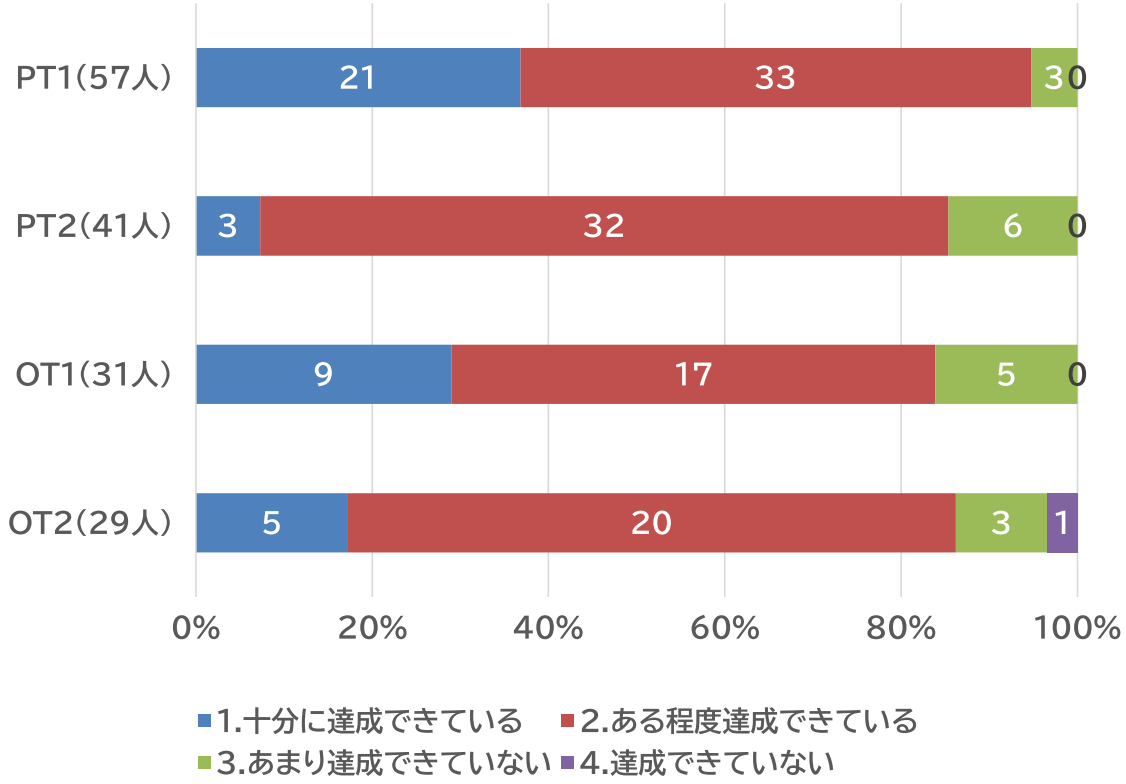
≪設問19≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】8.　多様な背景を持つ人々と円滑にコミュニケーションが取れる



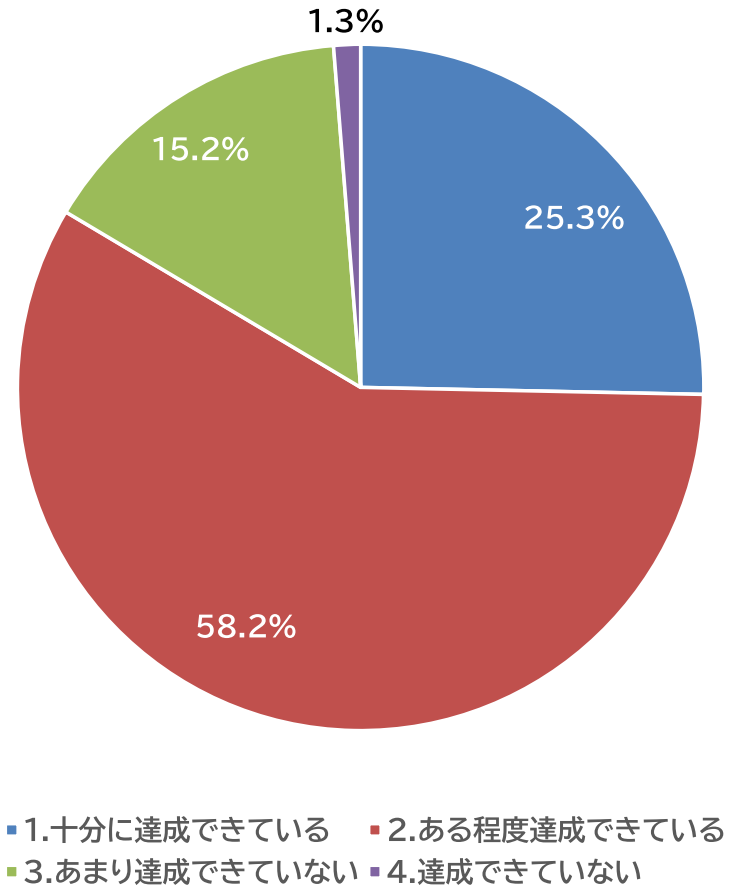


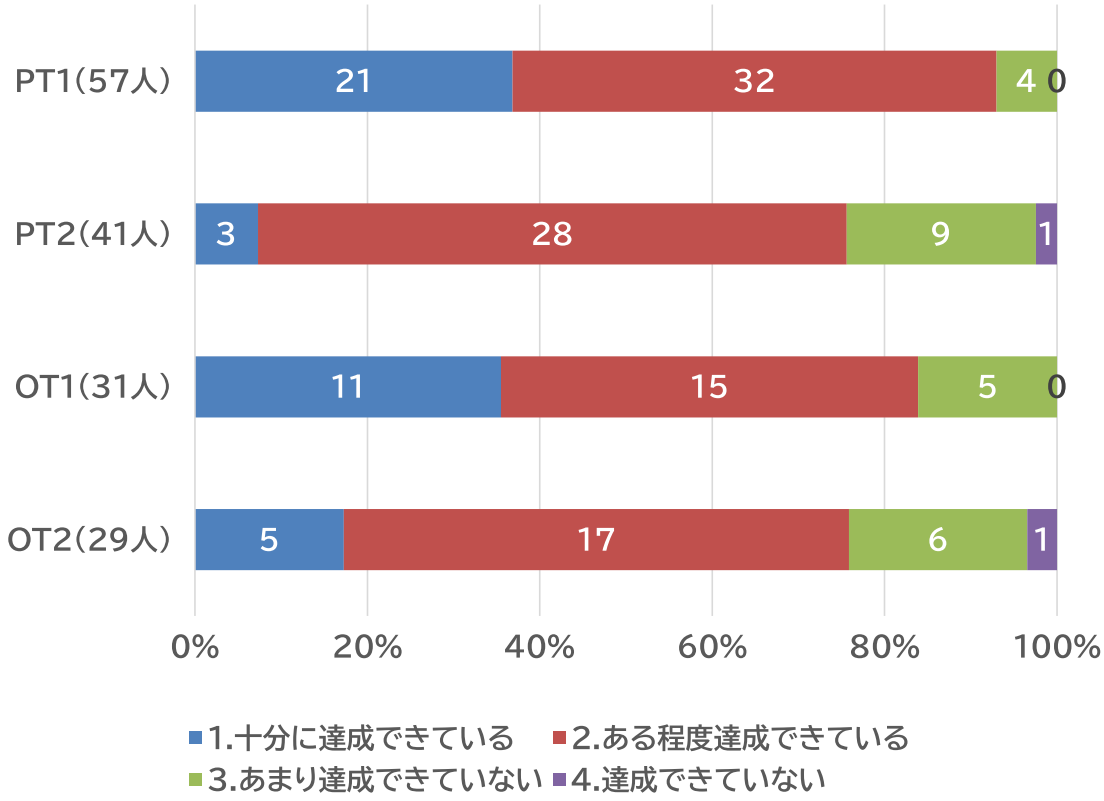
≪設問20≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】9.　他者と連携が必要な状況で、自分の役割を理解し、
積極的に関与できる



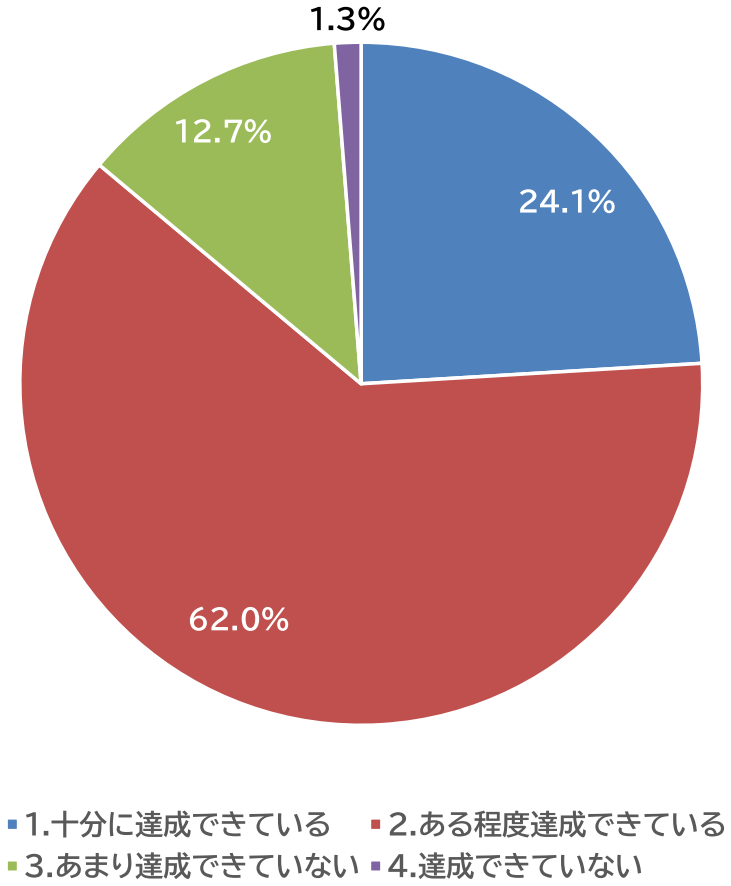


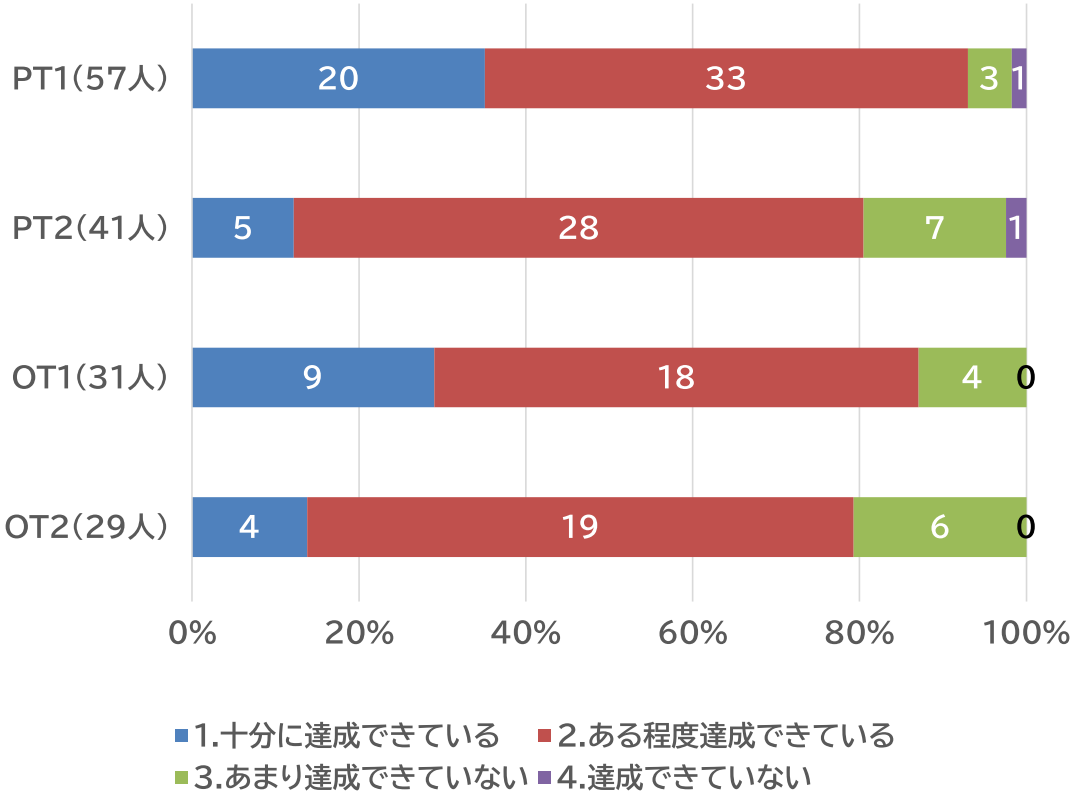
≪設問21≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】10.　多職種連携における情報共有の重要性を理解し、実践できる



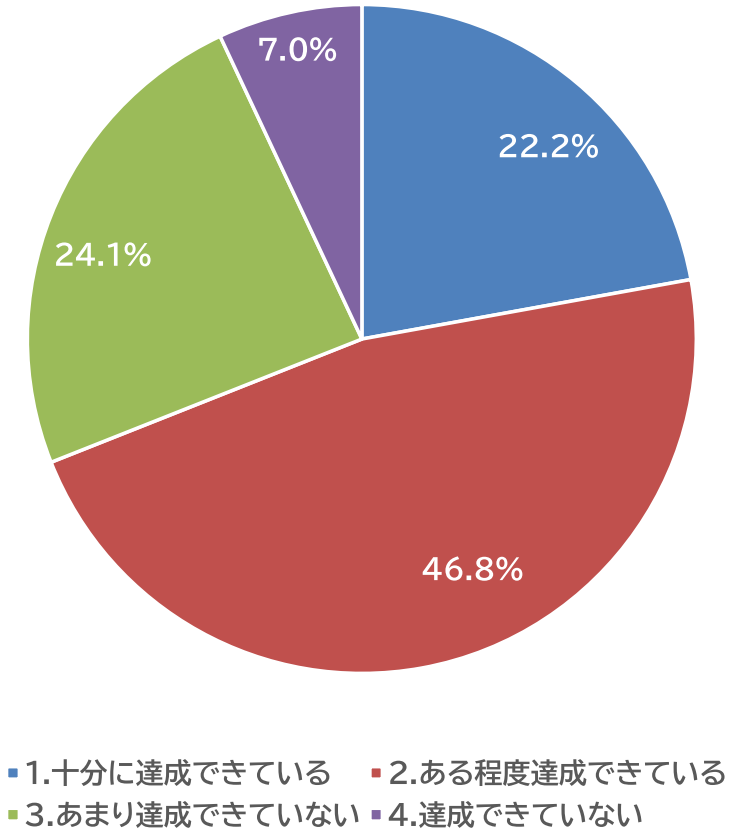


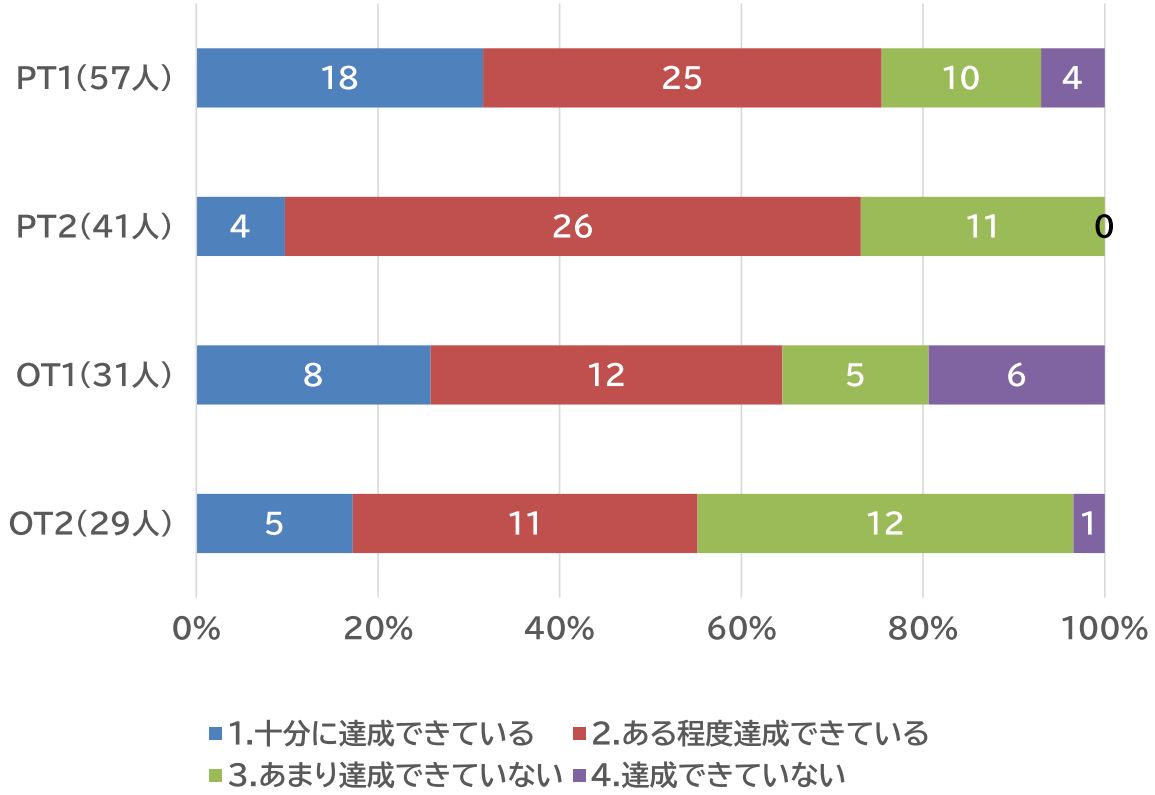
≪設問22≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】11.　理学／作業療法士の職業倫理について理解し、実践できる



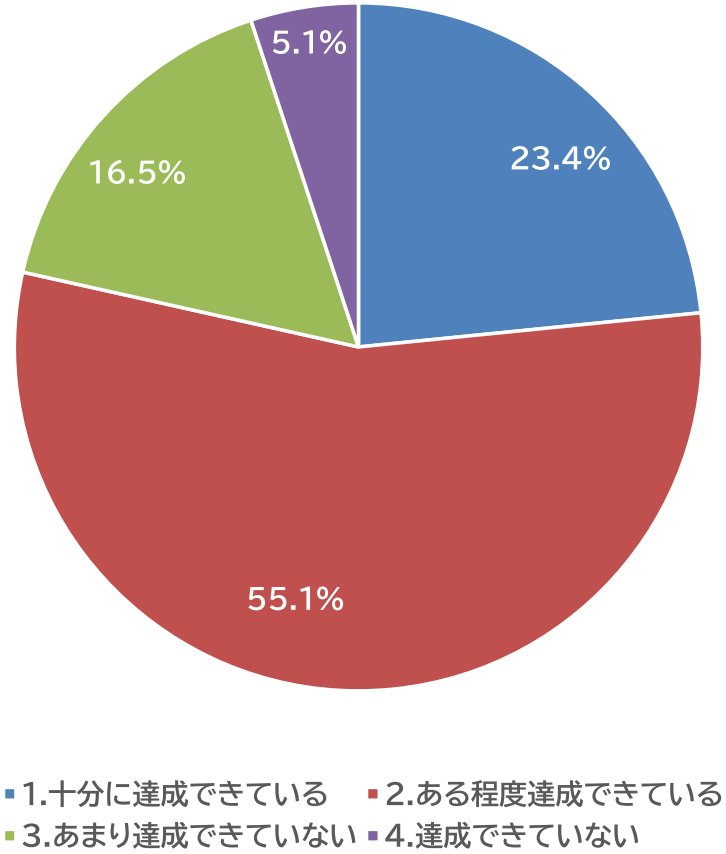


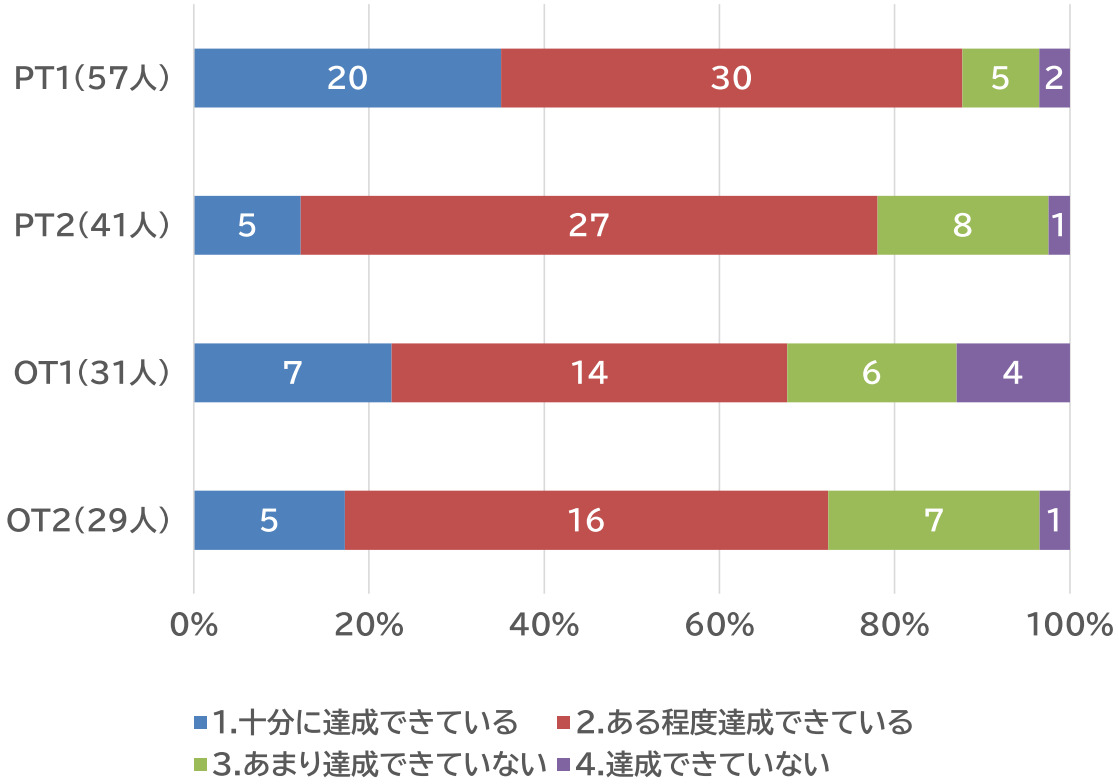
≪設問23≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】12.　基本的な治療技術を習得している



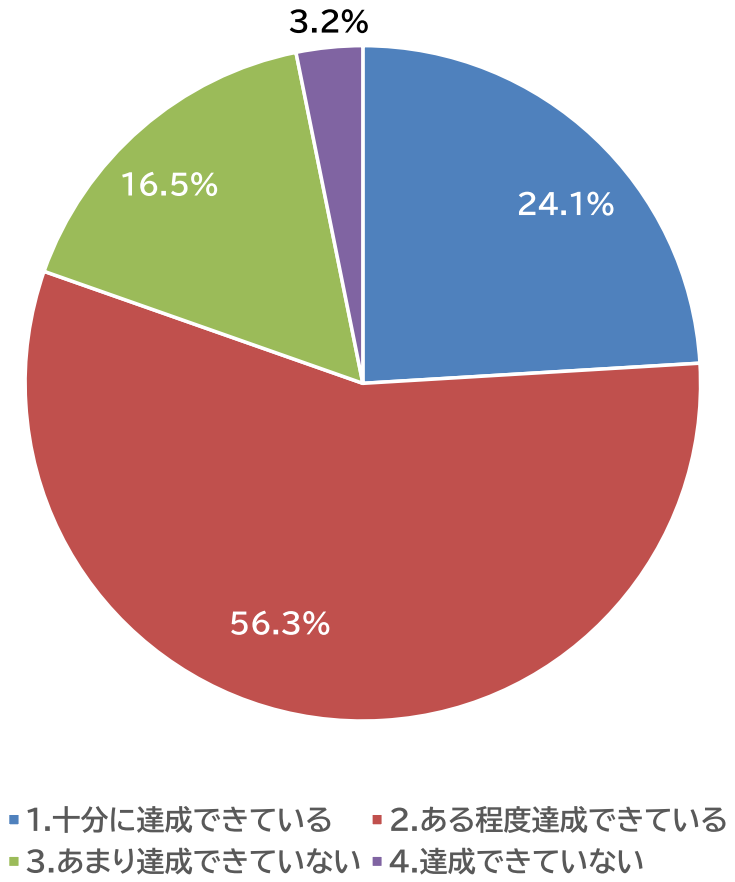


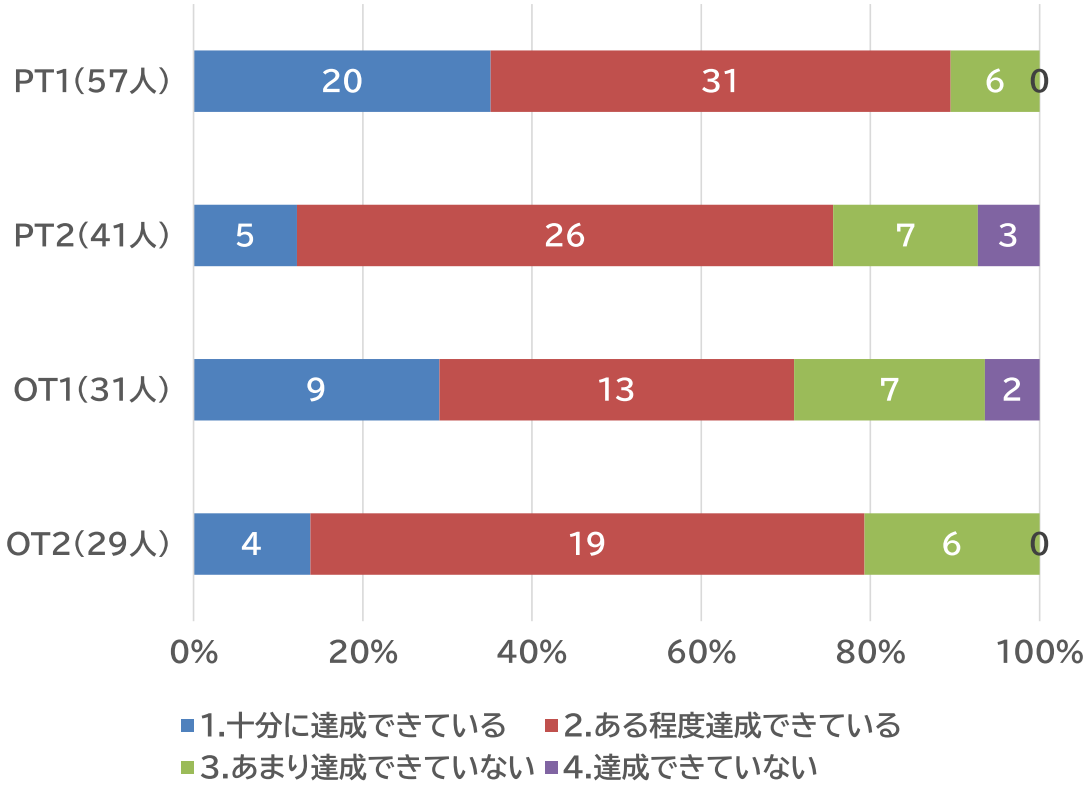
≪設問24≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】13.　治療の適応と禁忌を理解している





≪設問25≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】14.　対象者の話を聴き、ニーズを適切に把握することができる

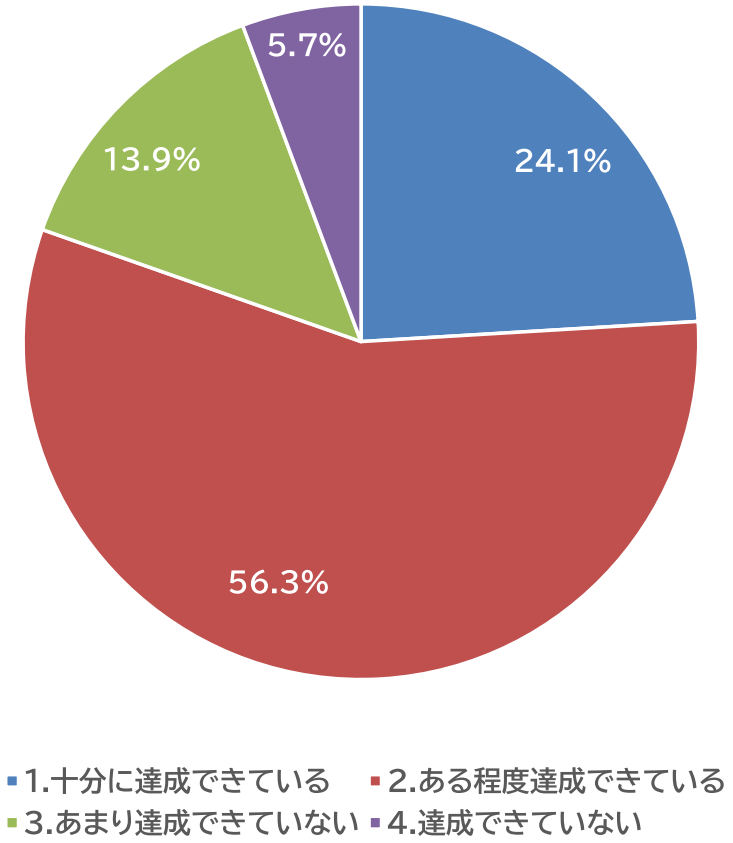


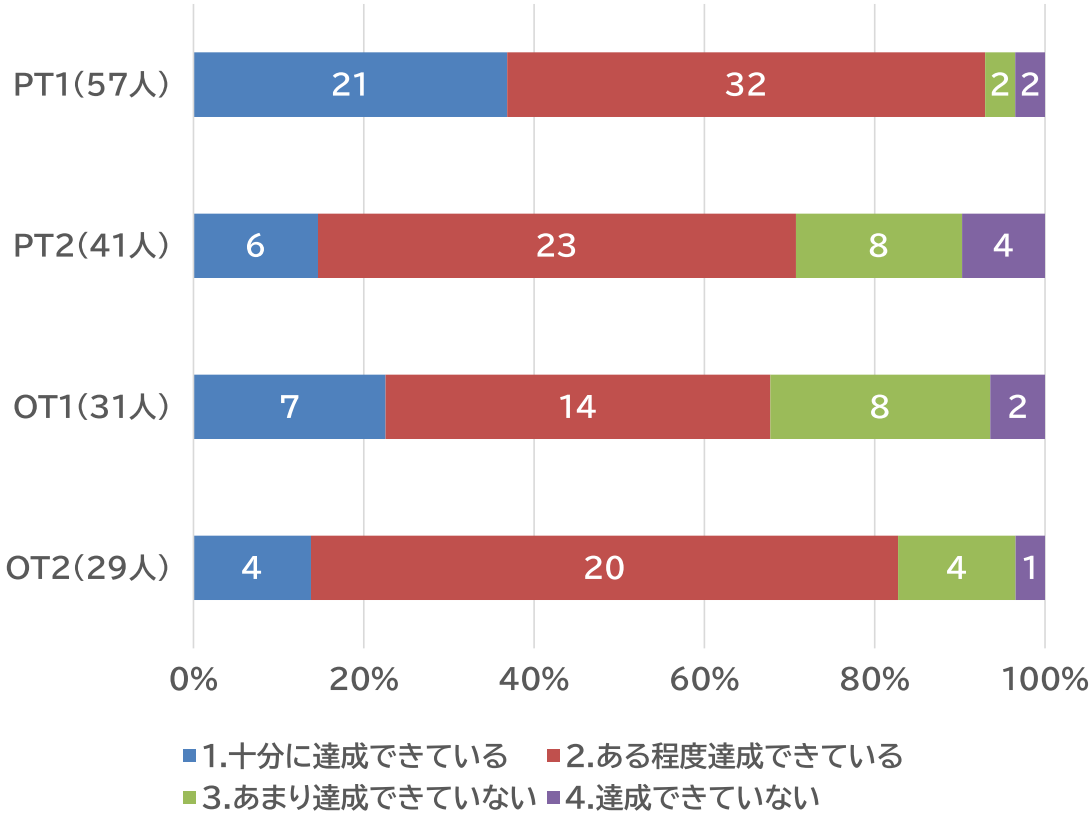


≪設問26≫

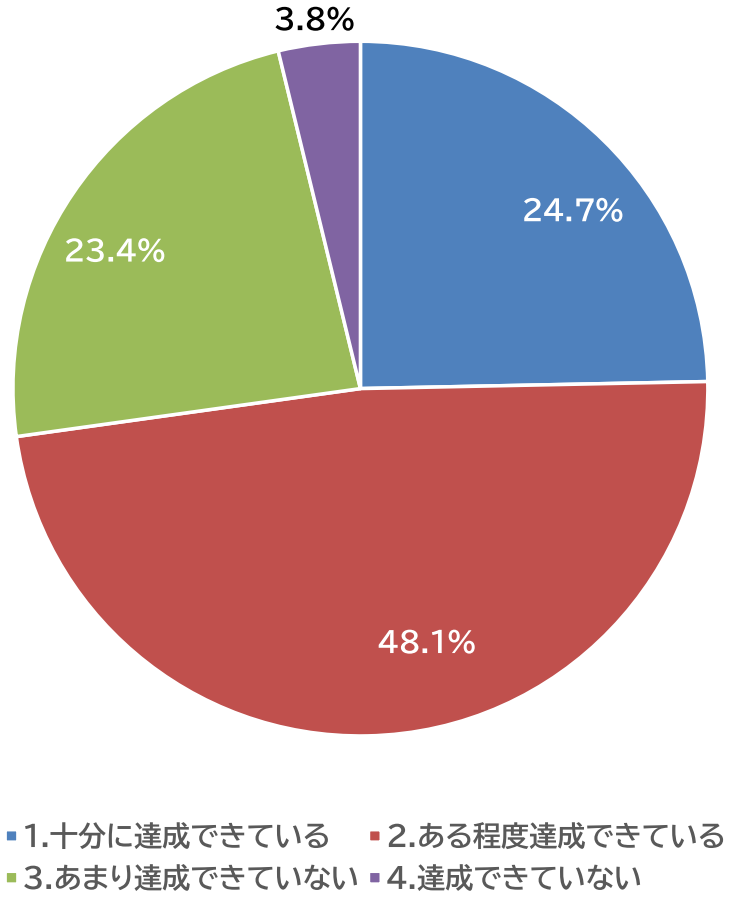
＜現時点における達成状況についてお答えください＞

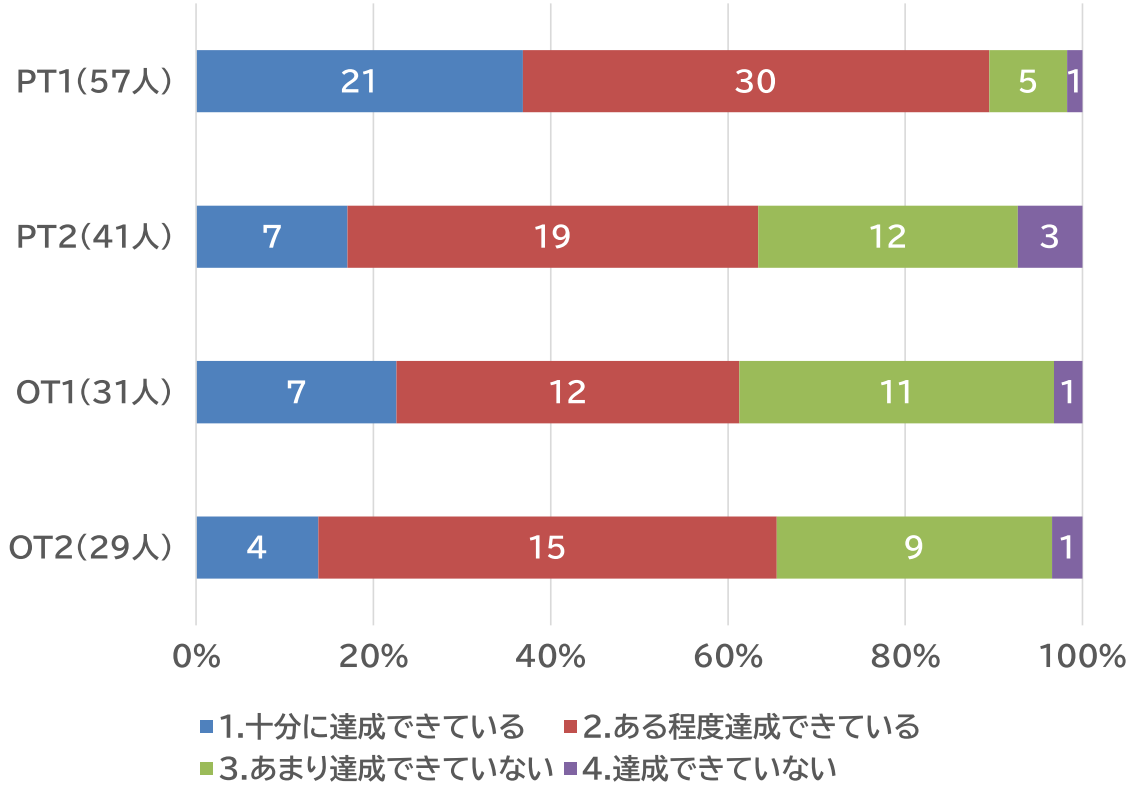
【学修成果】15.　予防的視点を持ち、安全管理に配慮した介入ができる



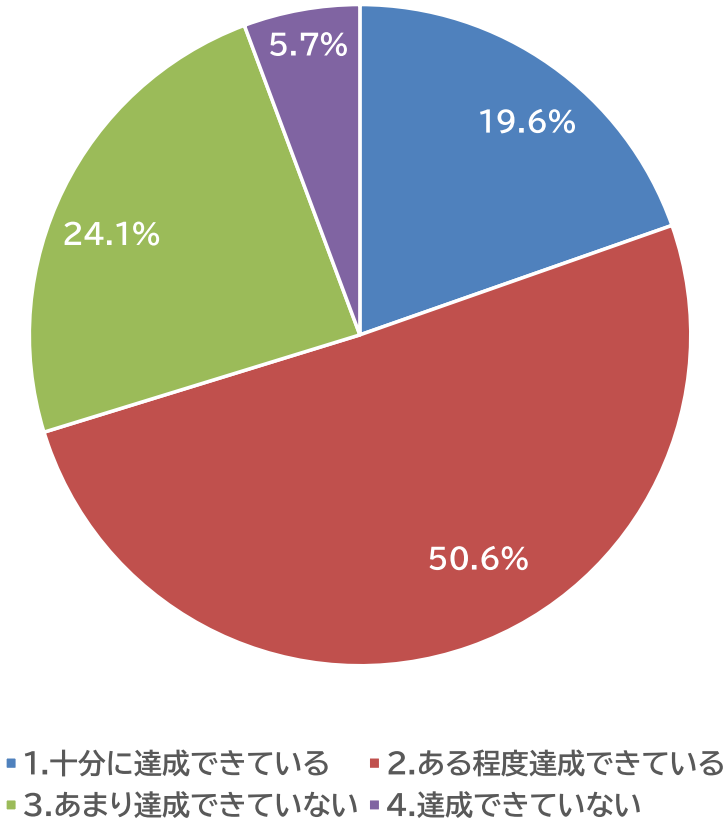


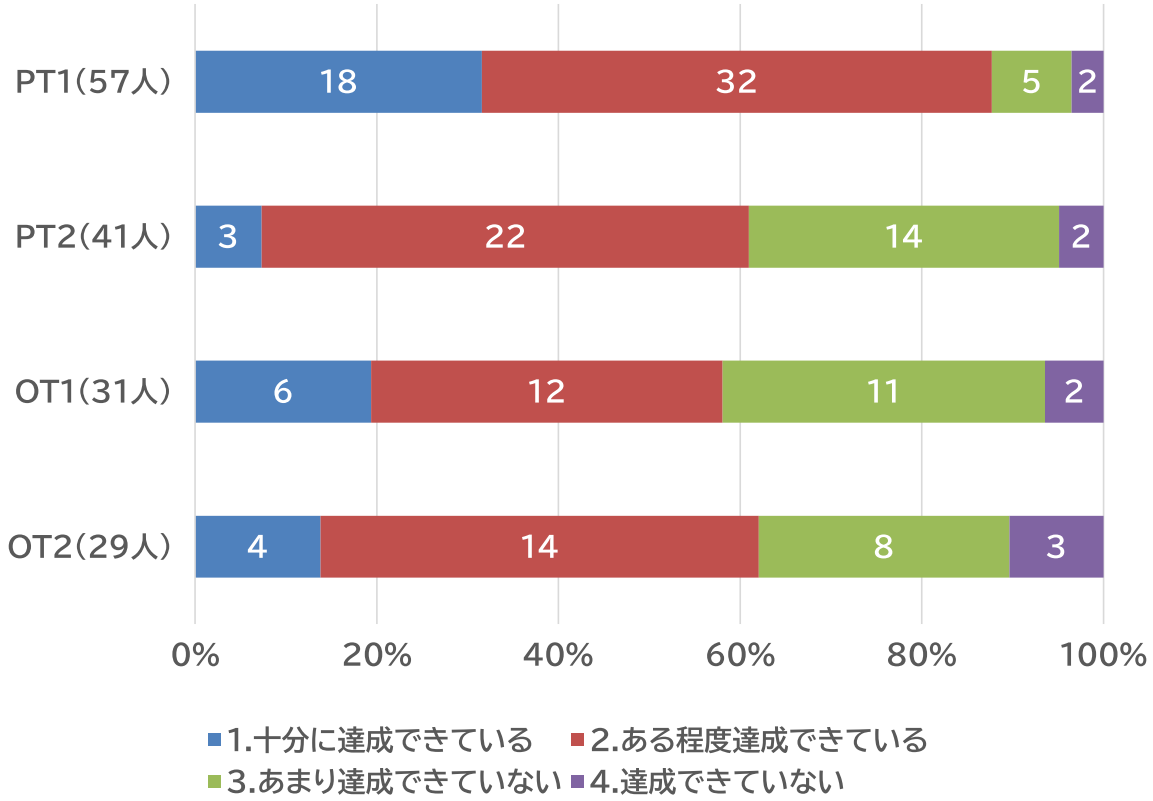
≪設問27≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】16.　身につけた知識と技術を効果的に統合することができる



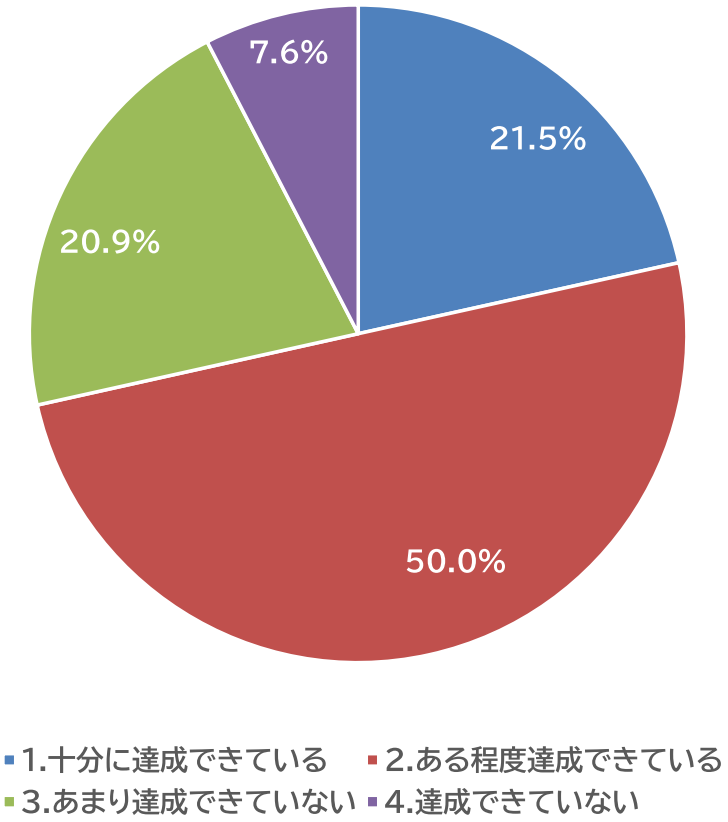


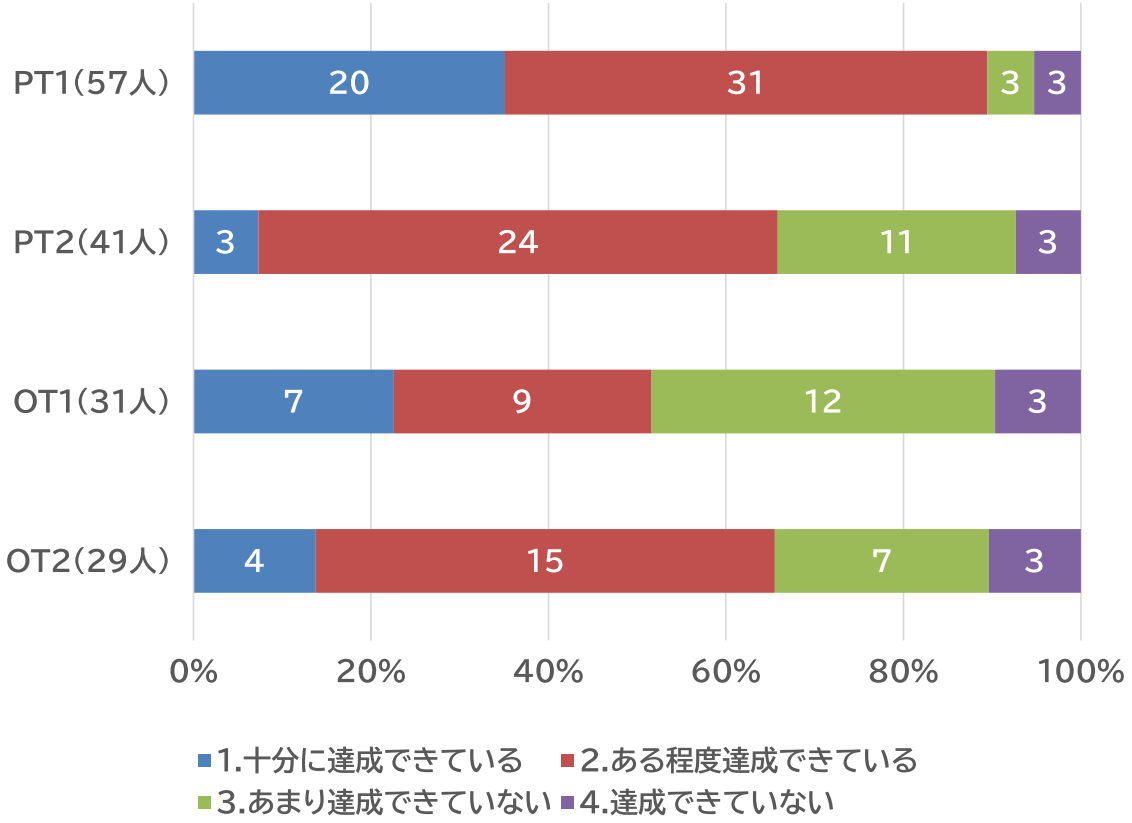
≪設問28≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】17.　対象者の状態に応じた評価項目を選択し、 適切に解釈することができる



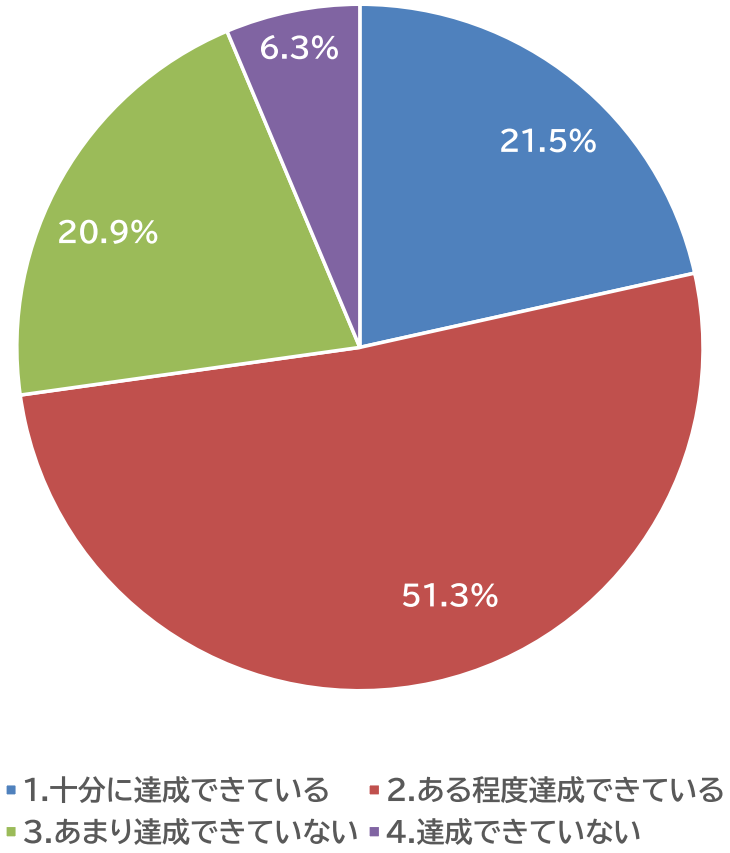


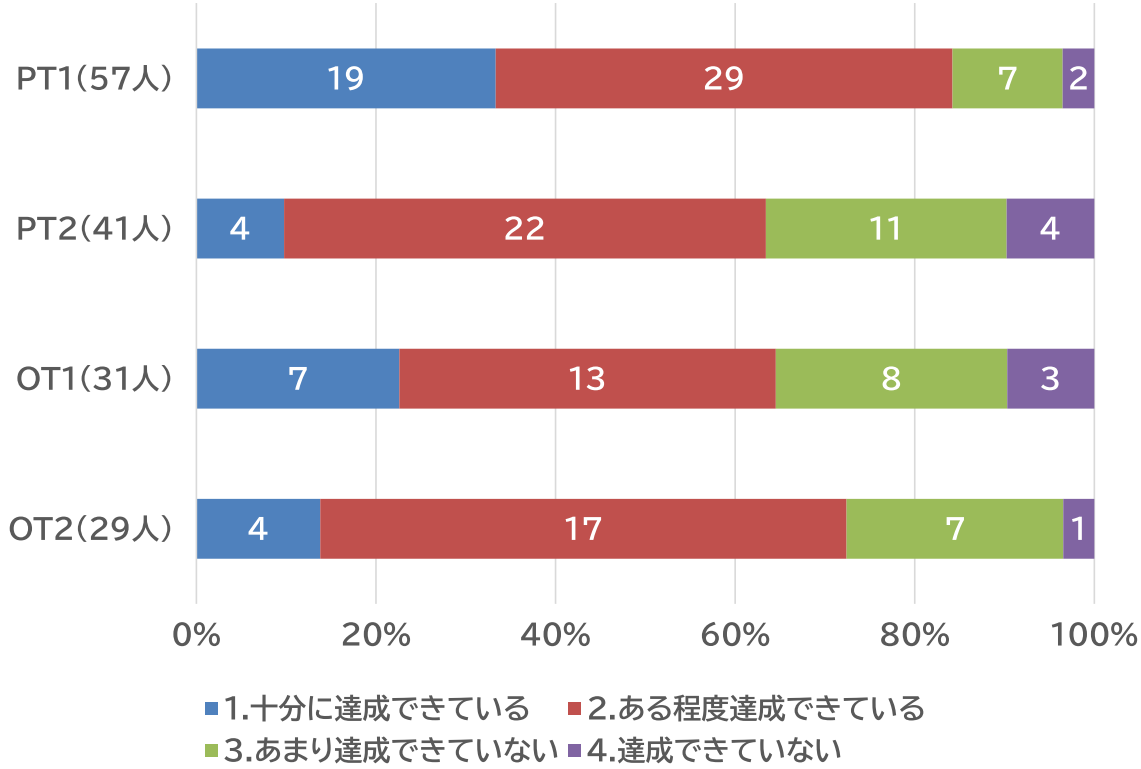
≪設問30≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】18.　基本的な評価手技を正確に実施し、結果を適切に記録することができる



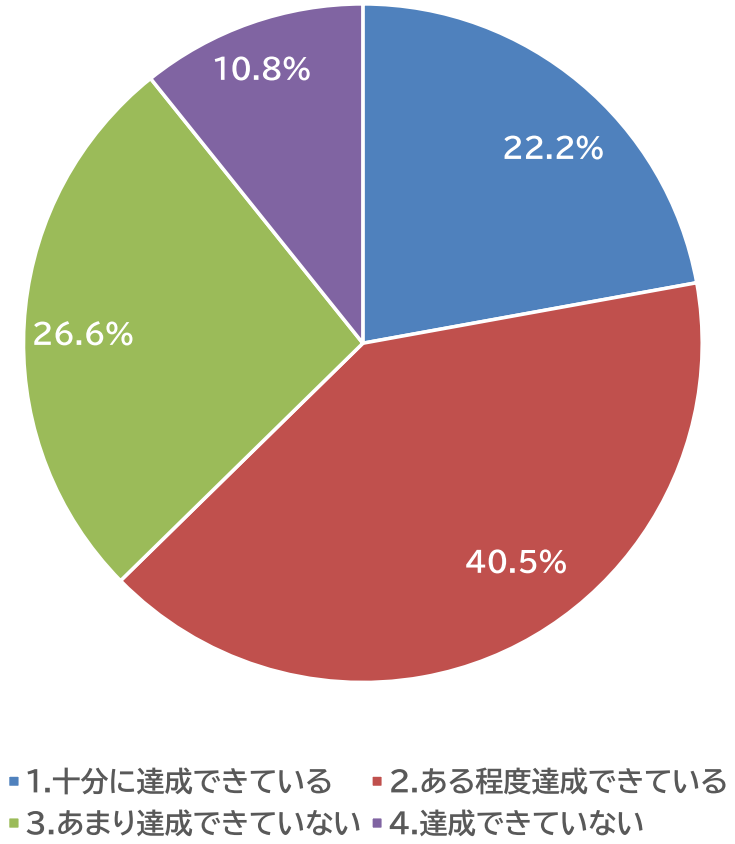


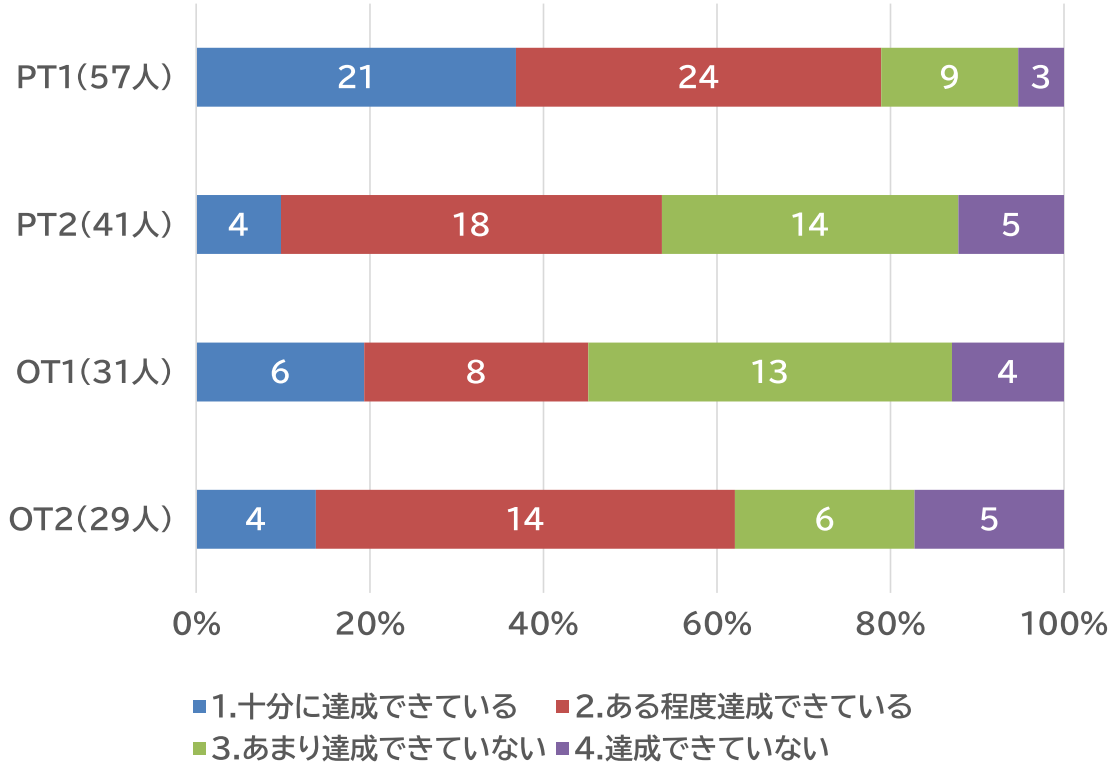
≪設問30≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】19.　評価結果に基づいて、問題点を抽出することができる



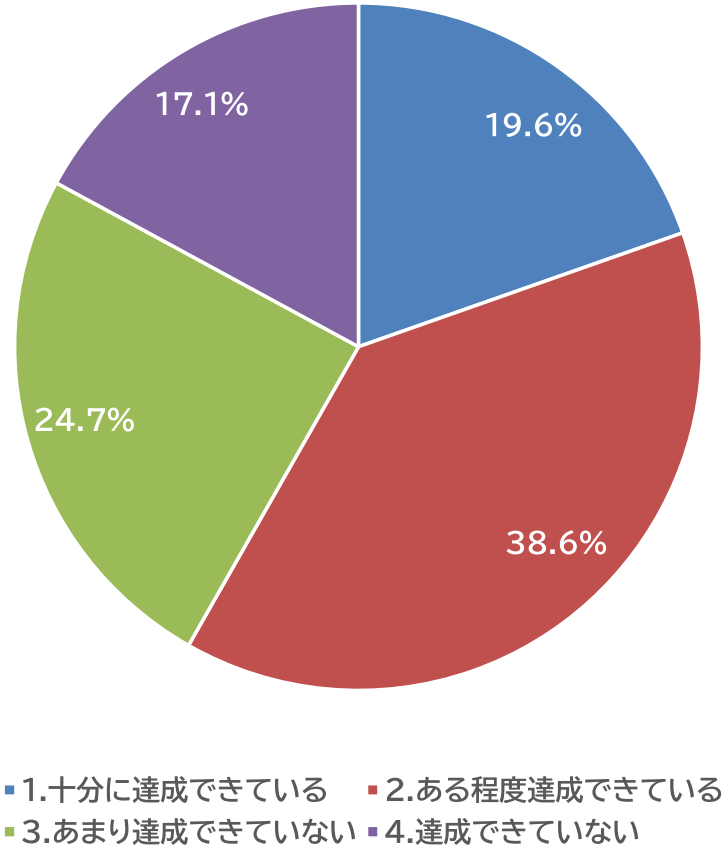


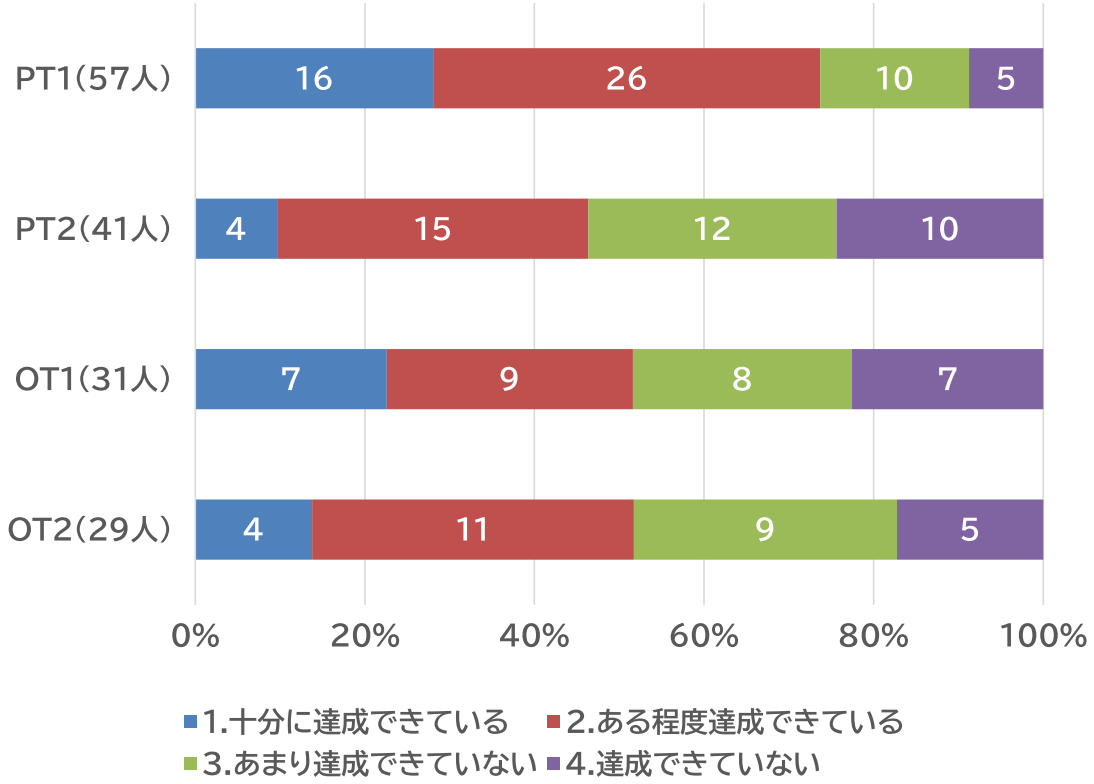
≪設問31≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】20.　対象者の個別性に応じた理学／作業療法プログラムを計画・立案することができる





≪設問32≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】21.　急性期から生活期までを見据えた介入計画を立案できる





≪設問33≫
＜現時点における達成状況についてお答えください＞
【学修成果】22.　長期的予後を考慮した目標設定ができる

